

令和元年度研究・教育活動報告

アーウィン マーク

(1) 研究成果 (著書)

Japanese Linguistics (朝倉書店)

(2) 研究成果 (論文)

Apophony, Prosodic Size and Initial Mora Integrity, 音韻研究 22:3-10

(3) 研究成果 (学会発表)

Japanese Apophonic Compounds: A Preliminary Report, 音韻フォーラム2019

(4) 研究成果 (その他)

(5) 教育, 地域連携等の活動

言語学演習、英語コミュニケーション上級、基盤英語

(6) 研究・教育活動に関するコメント

相沢 直樹

(1) 研究成果 (著書)

(2) 研究成果 (論文)

(3) 研究成果 (学会発表)

(4) 研究成果 (その他)

(5) 教育, 地域連携等の活動

• 授業

前期: ロシア語 I (2), ロシア語学演習, ロシア文化論, グローバル・スタディーズ基礎講義 (オムニバス)

後期: ロシア語 I (2), ロシア文化演習, ロシア語講読, グローバル文学概論 (オムニバス)

• 講演

松井須磨子とロシア

2019年 (令和元年) 5月9日 (木) 15:30~16:00

浜離宮朝日ホール 小ホール

※松井須磨子没後100年記念祭 (ロシア文化フェスティバル 2019 IN JAPAN)

• 学会

日本ロシア文学会理事 (2019.10.26~)

日本ロシア文学会編集委員長 (2019.10.26~)

(6) 研究・教育活動に関するコメント

赤倉 泉

- (1) 研究成果（著書）
- (2) 研究成果（論文）
- (3) 研究成果（学会発表）
- (4) 研究成果（その他）
- (5) 教育，地域連携等の活動

担当授業：専門教育：現代中国論、時事中国語、現代中国論演習
基盤教育：中国語

大学院：現代中国政治特論

学内委員：国際交流委員

- (6) 研究・教育活動に関するコメント

新宮 学

- (1) 研究成果（著書）
- (2) 研究成果（論文）

明中都皇城考 第二十届明史国際学術研討会暨朱元璋与明中都国際学術研討会論文匯編(中国・安徽) 441-456頁 2019年8月

- (3) 研究成果（学会発表）

- ・明中都皇城考 第二十届明史国際学術研討会暨朱元璋与明中都国際学術研討会 中国明史学会 中国・安徽鳳陽 2019年8月20日
- ・明朝の日本国王冊封と上杉景勝に贈られた冠服・兵部符 2019年度東北史学大会公開講演 東北大学 2019年10月5日

- (4) 研究成果（その他）

- ・「坤輿万国全図」がたぐイタリヤと日本 地域とともに歩む大学博物館—ポーニャと山形の活動事例から考える 山形文化遺産活用事業実行委員会 山形大学 2020年1月10日

- (5) 教育，地域連携等の活動

- ・東アジア文化圏の暦と改元 公開講座「河北の歴史と文化を探る」 河北郷土史研究会 河北町 2019年11月16日
- ・伊佐早謙の漢詩集『樅軒稿』を読み解く—沖縄調査時期を中心に— 第30回古典文学講座 市立米沢図書館 米沢市 2019年11月30日
- ・郷土史家伊佐早謙が残した林泉文庫について 第XIV期うきたむ学講座 山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館 2020年1月12日

- (6) 研究・教育活動に関するコメント

池田 弘乃

- (1) 研究成果（著書）

綾部六郎・池田弘乃編『クィアと法：性規範の解放／開放のために』（2019年、日本評論社）の編者に加わると共に次の論考を寄稿した。

池田弘乃「ケーキがあるのになんでセックスなんかするの? —— 「アセクシュアルと法」を考
えるために」同書3-23頁

(2) 研究成果 (論文)

(3) 研究成果 (学会発表)

「Is Asexuality A Sexuality? (アセクシュアリティは1つのセクシュアリティか?)」(2019年度
日本女性学会大会 第8分科会・ワークショップ「クィアと法」の可能性を探究する、2019年6
月16日、於・一橋大学国立キャンパス)

(4) 研究成果 (その他)

(5) 教育, 地域連携等の活動

基盤教育: 人間の「性」と現代の法 (人間を考える)

専門教育: 総合講座Ⅱ (オムニバス)、法務実践演習e (ジェンダー法務実践)、法哲学演習、
私法入門、法哲学1、法哲学2

大学院: 法哲学特論Ⅰ、法哲学特別演習

非常勤講師: 東北大学法科大学院「ジェンダーと法」演習 (オムニバス)、東北医科薬科大学「患
者安全・医療倫理学」(オムニバス)

地域連携等: 山形県医療審議会委員 (2016年10月1日より継続中)、山形県建築士審査会委員
(2018年7月1日より継続中)、ファーラ大学講師 (山形市男女共同参画センター・
ファーラ)、公益財団法人東洋哲学研究所連続公開講演会「人類の未来と人権」
講師 (2019年11月28日)、山形市「性の多様性に関する職員研修会」講師 (2019
年12月16日)、河北町立河北中学校教員研修会講師 (2020年1月28日)、山形市女
性団体連絡協議会代表者会にて講演 (2020年2月22日)

2019年7月から2020年2月までにわたりほぼ毎月、山形市内のLGBTQ +サークル
「カラフル」代表をお招きして、性の多様性について学習する懇談会「カラフ
ル・カフェ」を開催した (担当授業の受講生有志のみならず、幅広く学生・市民
の参加を得た)

学内委員: 教務委員 (副)

(6) 研究・教育活動に関するコメント

PBL科目である法務実践演習eについて、特別招聘講師として小堀絵里子先生 (仙台弁護士会)
にご協力をいただいた。また、今野健一教授、中島宏教授にもご協力をいただいた。深甚の感謝
を申し上げたい。

池田 光則

(1) 研究成果 (著書)

(2) 研究成果 (論文)

(3) 研究成果 (学会発表)

(4) 研究成果 (その他)

(5) 教育, 地域連携等の活動

(a) 担当授業

- 学部専門教育科目：言語学概論，言語学特殊講義 a，ラテン語 1，ラテン語 2
 - 基盤共通教育科目：言語学概論（言語学），言語学とその周辺領域（言語学），英語
 - 大 学 院：言語学特論，言語学特別演習
- (b) 卒業論文指導
- 感情を表す動詞「気に入る」が取る項の格について
- (c) 出張講義等
- 山形県立米沢東高等学校（2019年10月8日）
 - 訪問調査対応（山形県立長井高等学校2年次「課題研究」：2019年8月8日）
- (6) 研究・教育活動に関するコメント

和泉田 保一

(1) 研究成果（著書）

- 共著

榊原秀訓編著『現代イギリスの司法と行政的正義 ―普遍性と独自性の交錯』（日本評論社・2020年）のうちの「都市計画における開発利益の取り扱いと損失補償について」、pp.253-282

碓井光明他編『行政手続・行政救済法の展開 西埜章先生・中川義朗先生・海老澤俊郎先生喜寿記念』（信山社，2019年）のうちの「イギリスにおける都市計画上の土地収用にかかる損失補償について」 pp.445-469

(2) 研究成果（論文）

(3) 研究成果（学会発表）

「都市計画における開発利益の取り扱いと損失補償について」（第19回「国家と法」研究会（琉球大学）、2020年3月）

(4) 研究成果（その他）

- 書評

「白藤博行著『地方自治法への招待』』『地方自治叢書31 地方自治研究の30年』（敬文堂・2019年） pp.253-263

- ポスター発表

「ロボットの廃棄に関わる法的規制と有機素材を含有する場合の論点について」第2回ソフトロボシンポジウム（2019年9月）

(5) 教育，地域連携等の活動

- 担当授業

行政法1、行政法2、行政法3、行政法4、行政法演習、総合講座Ⅱ（「行政法」、政策法務

地方自治法（岩手大学人文社会科学部非常勤講師として）

- 地域連携活動

[審議会等委員]

山形県公文書管理委員会委員（R1年12月～）

山形県介護保険審査会委員 (H31年4月～)
山形県退職手当審査会委員 (H30年11月)
山形県公文書管理に関する条例制定検討委員会委員 (H30年11月～翌3月)
全国健康保険協会山形支部評議委員 (議長) (H30年10月～)
鶴岡市新文化会館建設に関する第三者調査・検証委員 (H30年5月～11月)
山形大学人文社会科学部倫理審査会委員 (H30年4月～)
山形市都市振興公社評議員 (継続)
山形県情報公開・個人情報保護審査会委員 (継続)
山形県議会情報公開・個人情報保護審査会委員 (継続)
山形大学 COI 社会システム研究委員会委員 (継続)
山形市行政不服審査会委員 (継続)
上山市行政不服審査会委員 (継続)
上山市情報公開・個人情報保護審査会委員 (継続)
長井市行政不服審査会委員 (継続)
西置賜行政組合不服審査会委員 (継続)

[外部研修講師]

国土交通省北陸地方整備局職員研修「法律」(7月)
山形市役所職員研修「行政法」(9月)

[講演]

「行政不服審査法の近年の施行状況」(長井市及び西置賜行政組合不服審査会講演), 2019年12月

[その他]

山形県自転車活用条例(たたき台)に対する意見(主管課からの要請による)(9月)
鶴岡市公文書管理に関する条例案に対する意見書(市長からの要請による)(8月)

(6) 研究・教育活動に関するコメント

西埜章教授他の喜寿記念論文集掲載論文「イギリスにおける都市計画上の土地収用にかかる損失補償について」が日本公法学会の学会誌『公法研究(81号)』の学会展望で紹介された。

また、平成30年度の業績であるが、横大道聡慶応義塾大学法務研究科教授との共著「マイクロプラスチック規制の国際動向」が、法律時報91(13)「特集学会回顧」において取りあげられ、「時宜を得た研究成果である」と評価された。

地域連携活動として、山形県公文書管理委員会委員としての活動もスタートし、また、長井市および西置賜行政組合の行政不服審査会会長としての講演を行うなど、行政法研究者としてこれまで積み上げてきた知見を一部なりとも社会に還元することができたものと自負する。

更に、そのような成果の一部を還元することも期して、教育活動において横断科目「政策法務」を開始。受講者は少なかったものの、政策の観点から公法学の意義を定位し、学生に還元することについて一定の成果を得たと思う。

伊藤 晶文

(1) 研究成果（著書）

伊藤晶文・阿子島功(2019):地上絵の作成当時から現在までの変化と当時の人々の水利用を探る. 青山和夫・米延仁志・坂井正人・鈴木 紀編:古代アメリカの比較文明論—メソアメリカとアンデスの過去から現在まで. 京都大学学術出版会, 188-200.

(2) 研究成果（論文）

(3) 研究成果（学会発表）

伊藤晶文・佐藤菜々美 (2019):2011年東北地方太平洋沖地震津波後に宮城県蒲生干潟の潟湖底・干潟堆積物から見出された珪藻群集. 2019年度東北地理学会・北海道地理学会秋季学術大会.

壇 綾女・小岩直人・伊藤晶文・サッパシー アナワット (2020):小型 UAV によるタイ南西部パカラン岬周辺のマイクロアトールおよび津波石の空間分布把握. 2020年日本地理学会春季学術大会.

(4) 研究成果（その他）

(5) 教育，地域連携等の活動

[担当授業]

環境動態概論，環境動態論特殊講義 b，環境動態論基礎演習，環境動態論演習，課題演習（環境動態論），人間文化入門総合講義（分担），地形と災害（人間を考える・共生を考える）（米沢キャンパス）

[地域貢献]

宮城県環境影響評価技術審査会委員

(6) 研究・教育活動に関するコメント

今村 真央

(1) 研究成果（著書）

(2) 研究成果（論文）

『『宗教と近代』と東南アジア研究』、『東南アジア—歴史と文化』48:71-82（査読有）2019年5月

(3) 研究成果（学会発表）

“Centrality of Christian Conversion to Kachin Nation Making” 第10回ヨーロッパ東南アジア学会 European Association for Southeast Asian Studies（フンボルト大学ベルリン、9月13日）

(4) 研究成果（その他）

- ・今村真央『東南アジア文化事典』信田敏宏（編）（2019）丸善出版、「キリスト教」218-219.（査読有）2019年10月
- ・Masao Imamura and Noboru Ishikawa. Locating Zomias Dry and Wet: Stateless Spaces in Mainland and Maritime Southeast Asia 『東南アジア学会会報』第110号: 19-20. 2019年6月
研究会・パネルの組織・運営:
- ・パネル “Locating Zomias Dry and Wet: Stateless Spaces in Mainland and Maritime Southeast Asia” 第10回ヨーロッパ東南アジア学会 European Association for Southeast Asian Studies（フンボルト大

学ベルリン、9月13日)

- 研究会 ”Borderland Journeys: Reflections on Northeast India through a Lens” 京都大学アジア・アフリカ地域研究研究所 (10月19・20日)
 - 「国境研究会：北東アジアと東南アジアの邂逅」山形大学人文社会科学部 (7月13日)
- (5) 教育, 地域連携等の活動

授業:

- 基盤共通教育: 「戦争の記録と記憶 (人間を考える)」
- 学部共通: 「キャリアガイダンス」(進路指導委員として)
- 専門科目: 「東南アジア地域論 (講義)」 「国際協力論 (講義)」 「グローバルプロブレマティーク基礎演習 c」 「東南アジア地域論演習」 「国際協力論演習」 「異文化間コミュニケーション1 ミャンマー実習」
- 研究科: 「東南アジア文化論特論 I」 「東南アジア文化論特論 II」

11月に、山形国際ドキュメンタリー映画祭と共催で、イスラエル映画上映会を小白川キャンパスで開催した。監督本人を含め、国際色多彩なゲストをキャンパスに呼ぶことができた。複数の映画監督に授業にも参加してもらうことができた。

東南アジア学会北海道・東北地区委員

(6) 研究・教育活動に関するコメント

研究面では、東南アジア通史の翻訳にかなりの時間を割いた。(出版は2021年の予定。)

9月にベルリンで大きなパネルを組織した。ここで発表された論文が編集本が2021年か2022年に出したい。

例年より学会発表の数を少なくし、労力を執筆に回すように心がけた。(今年度に複数の査読論文を書き上げたい。)

コロナの影響で、基盤A (「ゾミア2.0: 「東南アジア」と「南アジア」の境域における開発・民族・宗教) に遅れが生じている。複数の研究分担者の現地調査(国外)が昨年度3月にキャンセルされ、目処が立っていないことを危惧している。

教育面では、ミャンマーとタイの提携校との関係深化に労力を費やした。

岩田 浩太郎

(1) 研究成果 (著書)

- 『柏倉惣右衛門家—暮らしと代々の系譜—』(共著、「柏倉惣右衛門家の系譜について—とくに2代惣右衛門(初代清右衛門)をめぐって—」担当執筆 [61~69頁]、NPO 法人柏倉家文化村、2019年6月)

(2) 研究成果 (論文)

(3) 研究成果 (学会発表)

[シンポジウム]

- 旧柏倉家住宅重要文化財指定記念シンポジウム「旧柏倉家住宅の伝えるべき価値、活かしたい輝き」パネリスト (大石崇史・永井康雄・三田村有純・麓和善・尼崎博正の各氏と共に、中山町・中山町教育委員会主催・山形県教育委員会後援、2019年11月21日、於山形県中山町中央公

民館大ホール)

(4) 研究成果 (その他)

〔文化財関係〕

- ・山形県中山町旧柏倉家住宅の国指定重要文化財申請・指定 (2019年9月30日付官報告示・指定) への協力 (中山町教育委員会へ柏倉九左衛門家の歴史研究成果の提供及び附指定の普請文書の教示など)
- ・旧柏倉家住宅ひなまつり雛人形パンフレット作成への協力 (柏倉家一類の歴史研究成果の提供及び箱書き墨書解説など)
- ・「九左衛門ガイドサイト」(山形県中山町教育委員会)作成への協力 (柏倉九左衛門家の歴史研究成果の提供など)

(5) 教育, 地域連携等の活動

〔担当授業科目〕

- ・基盤教育科目:基幹科目「歴史にみる共生」(共生を考える)、基幹科目「山形と紅花の歴史(山形から考える)」
- ・専門教育科目:日本経済史1・2、地域経済史、日本経済史演習、法経政策専門基礎演習、総合講座Ⅲ(オムニバス・1回分)
- ・大学院教育科目:社会文化システム特論(オムニバス・1回分)
- ・教員免許状更新講習「山形と紅花の地域史(日本近世史)」担当、(中高教諭対象、2019年8月2日、於人文社会科学部)
- ・国際交流 台湾師範大学大学院生受入事業・講義「山形県村山地方の歴史と地域性―近世から近代へ―」担当(2020年2月12日、於人文社会科学部)

〔委員会活動、その他〕

- ・全学:山形大学紀要(社会科学)編集委員会編集責任者
- ・学部:経済政策論教員選考委員会委員、高校訪問重点校(仙台第三高等学校)担当、やまがた地域社会研究所所員、編入学試験小論文査読委員ほか
- ・大学院:運営委員(文化システム専攻)・入試部会委員(「大学院過疎に係る意見」など提出)

〔社会活動〕

- ・山形大学職員組合人文支部長(2019年5月~2020年4月)
- ・財団法人三浦新七博士記念会・三浦記念賞選考審査会審査員(2012年4月~)
- ・山形県中山町旧柏倉家住宅保存・利活用検討会議委員(2017年7月~)
- ・山形県中山町柏倉家文書目録整理員(2018年2月~)
- ・山形県中山町岡地区の旧家文書調査依頼への対応
- ・山形県中山町紅花保存会からの歴史事実問い合わせへの対応
- ・山形県白鷹町荒砥清水屋惣左衛門家及び同町からの調査依頼への対応
- ・山形県立博物館特別企画展への協力
- ・山形県河北町ひなカレッジ企画への協力
- ・九州大学大学院経済学府博士課程院生へのアドバイス
- ・山形商工会議所『商工月報』連載企画「日本一の紅花商人 長谷川家とその時代」への協力(資

料提供・原稿チェックなど)

- ・伊勢半本店紅ミュージアムの展示リニューアルへの協力 (最上紅花の歴史知識提供など)
- ・奥羽史料調査会世話人 (2002年～)
- ・山形市内の旧家からの古文書保存・調査依頼への対応
- ・宮城県村田町伝統的建造物群保存地区保存審議会委員 (2013年12月～)
- ・宮城県村田町大沼正七家文書目録整理員 (2016年4月～)
- ・宮城県村田町歴史みらい館展示企画「普請」展への協力 (村田町家普請文書や棟札の解説文作成など)
- ・宮城県村田町教育委員会「蔵の町並み」町家看板づくりへの協力 (町家の屋印情報の提供など)
- ・宮城県柴田町の旧家からの古文書保存・調査依頼への対応
- ・宮城県大河原町の旧家からの古文書保存・調査依頼への対応
- ・新潟県新潟市の北方文化博物館への協力 (千町歩地主伊藤文吉家文書の調査及び伊藤家総法名軸の解説・解説など)
- ・京都祇園祭山鉦の歴史史料調査への協力 (京都紅花問屋伊勢屋源助家に関する情報提供など)
- ・「国重文指定記念シンポ 旧柏倉家住宅 その価値」(『山形新聞』2019年11月22日付朝刊) 取材協力

(6) 研究・教育活動に関するコメント

経済・マネジメントコース代表 (2017・18年度) を務めた代替措置として2019年度は委員負担を軽減して下さった。

研究及び地域連携活動では、長年調査研究しその成果を文化財保存に活かす取り組みもしていた山形県東村山郡中山町大字岡の旧柏倉家住宅 (柏倉九左衛門家) が国の重要文化財に指定された。ここに至る長年の過程でご当主・一類・町・県・国・住民・NPO・建築家・研究者などの間のいろいろな協力と信頼関係づくり、課題などにつき多くを学ばせていただいた。敬意と感謝を述べたい。重文指定シンポや同住宅公開のためのパンフレット及びガイドサイトづくりなどに引き続き協力した。

山形県・宮城県・新潟県ほかの旧家からの調査依頼に協力する活動も継続した。北方文化博物館 (新潟市) や宮城県大河原町の旧家に長年の調査成果をお渡しできた。山形県白鷹町などの旧家につきあらたに調査を開始することとなった。山形県・中山町・河北町・村田町・伊勢半本店 (東京都) などでの展示や町づくり、講演企画への協力・助言も請われるままにおこなった。

教育活動では、改組による授業コマ数の増加と教員減にともなう輪番負担の措置として2019年度は例年よりも1コマ多い授業担当となり、基盤共通教育基幹科目「山形と紅花の歴史」を新規に開講することでその任を果たした。学部の日本経済史ゼミでは例年通り、中山町の岡村文書及び柏倉家文書の調査研究を継続し、ゼミ共同研究論文の成果の一部を年度末に岡地区で発表する予定にしてゼミ生と共同研究を完成させたが、柏倉家ひなまつりの企画全体がコロナ禍のため中止となり発表会も実施できなかったことは誠に残念であった。

教員免許更新講習や国際交流の台湾師範大学受入事業で講義を担当し、現場の小中高教諭や台湾の大学院生と交流できた。国際交流事業に尽力された教員の取り組みを垣間見ることができ参考となった。山形県の日本遺産認定など文化行政のあり方の問題点について教員免許更新講習や

大学院の社会システム特論の一部で取り上げたが、とくに小中高の教育現場の先生方のなかには問題意識を共有されている方もおられ活発に議論をおこなうことができた。

大久保 清朗

(1) 研究成果（著書）

アンドレ・バザン研究会『アンドレ・バザン研究』第4号、山形大学人文社会科学部附属映像文化研究所（代表）。

(2) 研究成果（論文）

- ・査読付き論文「映画における晩年性——アンドレ・バザンとフランソワ・トリュフォーの老化をめぐる議論」、『山形大学人文社会科学部研究年報』第17号、2020年3月、91-109頁

(3) 研究成果（学会発表）

- ・司会「ポスト・ノスタルジー：映像メディアと記憶の問題」（2019年6月1日）
- ・講演「映画とアダプテーション」東北税理士会集中講座講義、山形大学にて（2019年9月12日）

(4) 研究成果（その他）

- ・科研費（基盤研究B）「アンドレ・バザンの映画批評の総合的再検討」（代表）2017年—2021年（期間5年間の3年目）
- ・コラム「虚実が交錯する場所——『アルカトラズの脱出』」2019年4月21日
- ・コラム「誰かの祈りが絆保つ——『魔女の宅急便』」2019年6月9日
- ・コラム「男の一言その真意——『タッカー』」2019年7月28日
- ・コラム「映画内映画に目まい——『グレムリン』」2019年9月15日
- ・コラム「荘厳な闇に恍惚の音色——『ゼロ弾きのゴーシュ』」2019年11月3日
- ・コラム「「私たち」こそ主人公——『ネバーエンディング・ストーリー』」2019年12月22日
- ・コラム「渋滞の度に思い出す——『ハリーとヘンダスン一家』」2020年2月16日
- ・レビュー『ニューヨーク公共図書館 エクス・リブリス』2019年5月18日
- ・レビュー『7月の物語』2019年6月7日
- ・レビュー『パピヨン』2019年6月28日
- ・レビュー『さらば愛しきアウトロー』2019年7月12日
- ・レビュー『天気の子』2019年7月26日
- ・レビュー『サタンタンゴ』2019年9月6日
- ・レビュー『ブルーアワーにぶっ飛ばす』2019年10月11日
- ・レビュー『夕陽のあと』2019年11月8日
- ・レビュー『ライフ・イットセルフ 未来に続く物語』2019年11月29日
- ・レビュー『つつんで、ひらいて』2019年12月21日
- ・レビュー『リチャード・ジュエル』2020年1月17日
- ・レビュー『母との約束、250通の手紙』2020年2月7日
- ・レビュー『三島由紀夫 vs 東大全共闘 50年目の真実』2020年3月13日
- ・書評「ロケ地探訪記のなかに鋭い分析——『新海誠の世界を旅する』」、『キネマ旬報』2019年10月下旬号（1822号）、148-149頁。

- 書評「作者探しの落とし穴——『ミヤザキワールド』、『キネマ旬報』2020年3月上旬号(1833号)、150-151頁。
- インタビュー「批評とは作品に言葉を与え、生き直すこと」、「自由学園100人の卒業生+」2019年9月13日 (<https://www.jiyu.ac.jp/jgs100/kiyoaki-okubo.html>)
- 座談会「1990年代外国映画ベスト・テン〈鼎談〉」、「キネマ旬報」2019年9月下旬号

(5) 教育, 地域連携等の活動

- 基盤共通科目で「フランス語Ⅰ」「フランス語Ⅱ」を担当
- 専門科目で「映像学概論」「課題演習(映像学)」「フランス語学演習」「留学事前演習」を担当。
- 卒業論文指導で6名の学生を指導(テーマはパトリシア・ハイスミス論、アニエス・ヴァルダ論、ハリウッド映画における日本人表象など)。
- 人文社会科学部附属映像文化研究所副所長および映画部門部門長、同研究所内アンドレ・バザン研究会代表
- 研究科運営委員会(大学院入試部会)(2年任期の2年目)
- 人文社会科学部進路指導委員会(2年任期の2年目)
- 全学部進路指導委員会(2年任期の2年目)
- 日本映像学会第45年全国大会実行委員会副委員長(2019年6月1日、2日開催)
- 2019年秋季実用フランス語技能検定4級準会場試験監督(2019年11月17日開催)

(6) 研究・教育活動に関するコメント

研究活動としては、山形大学で日本映像学会の全国大会を開催したことが大きかった。前年度から準備をしてきたものであったが、無事開催できたことに満足している。また昨年度に続き、論考を書くことができた(昨年度の研究発表の1つを論文にしたものである)。卒論指導の学生の1名が大学院進学を目指し、その指導相談なども行ったことを付記しておく。例年通り、卒論発表会を2月14日に開催した。今般の新型コロナウイルス感染拡大直前のことであった。7月3日現在からすると遠い昔に思えてならない。

大杉 尚之

(1) 研究成果(著書)

II-16 何気ない動作で印象が変わる 三浦佳世・河原純一郎(編著) 美しさと魅力の心理 サイエンス社

(2) 研究成果(論文)

大杉尚之, & 河原純一郎. (2020). お辞儀と顔の外見的特徴が主観的魅力に及ぼす影響. 認知心理学研究, 17(2), 69-77.

大杉尚之. (2019). 分割呈示探索における視覚的印付け. 認知科学, 26(2), 254-271.

Hayashi, D., Iwasawa, H., Osugi, T., & Murakami, I. (2019). Feature-based attentional selection affects the perceived duration of a stimulus having two superposed patterns. *Vision research*, 156, 46-55.

Osugi, T., & Murakami, I. (2019). Preview benefit survives a three-dimensional rotation of the rigid configuration of search items. *Vision Research*, 156, 56-65.

(3) 研究成果(学会発表)

Osugi, T. Attentional shift to the newer object in the preview and simultaneous search. The 15th Asia-Pacific Conference on Vision, P2-16, Osaka, Japan, (2019).

大杉尚之 分割呈示コスト：新規出現への注意捕捉の不全 日本基礎心理学会第38回大会，1-46, 神戸，(2019年12月)。

長谷川国大・大杉尚之・小澤良 超高速提示される画像の再認成績は視覚記憶負荷に影響されるか。日本心理学会第83回大会，3A-052, 大阪，(2019年9月)。

大杉尚之・河原純一郎 お辞儀の丁寧さが顔の魅力に及ぼす影響。日本心理学会第83回大会，2B-012, 大阪，(2019年9月)。

(4) 研究成果（その他）

(5) 教育，地域連携等の活動

模擬講義：新庄東高等学校「認知心理学：心と脳とコンピューター」

(6) 研究・教育活動に関するコメント

卒業研究6件

1. 文章における変化の見落とし現象に関する実験的研究
2. ナスカ地上絵の認知に関する探索的研究
3. 絵画の奥行き感が幾何学錯視に及ぼす影響
4. 絵複数人場面における人物印象評定に視線が及ぼす影響
5. 文章理解における挿絵の動機づけ効果の検討
6. 実行注意がアレキシサイミアに及ぼす影響

小笠原 奈菜

(1) 研究成果（著書）

(2) 研究成果（論文）

「デジタル遺品の相続性に関する条項への消費者契約法10条の適用可能性—ドイツ連邦通常裁判所2018年7月12日判決（Facebook 判決）を契機として—(2)」山形大学法政論叢73号82頁以下（山形大学法学会）（2020年3月）

(3) 研究成果（学会発表）

「ワンセグ機能付き携帯電話所持者の放送法64条1項該当性（東京高裁平成30年3月26日）」、国際取引法研究会、明治大学（2019年4月）

「投資被害における救済—過失相殺の否定は可能か—」、ネットとうほく消費者被害事例ラボ、仙台弁護士会館（2019年7月）

「デジタル遺品の相続性に関する条項への消費者契約法10条の適用可能性」、東北大学民法研究会、東北大学（2020年1月）

(4) 研究成果（その他）

「ワンセグ機能付き携帯電話所持者の放送法64条1項該当性（東京高裁平成30年3月26日判決ほか）」私法判例リマークス59号（日本評論社）34頁～37頁（2019年7月）

「消費者法情報」現代消費者法46号（民事法研究会）130頁～132頁（2020年3月）

(5) 教育, 地域連携等の活動

[担当授業科目]

- 専門教育科目: 民法基礎 (契約法)、民法基礎 (総則)、民法基礎 (不法行為法)、法務実践演習 a (消費者法務実践)、民法演習、専門基礎演習 (オムニバス方式) 総合講座 II (法律)
- 大学院: 民法特論Ⅲ、民法特論Ⅳ、民法特別演習Ⅱ、経営法務特別研究Ⅰ (前期・後期)、主任 (1名担当)

[地域連携]

消費者市民ネットとうほく理事、検討委員

山形県消費生活審議会委員 (副委員長)

山形県公益認定等審議会委員

山形県個人情報保護運営審議会委員

山形県情報公開・提供の検証見直し第三者委員会委員

消費者市民ネットとうほく主催「ネットとうほく消費者被害事例ラボ」講師 (2019年7月)

東北税理士会夏季集中講座 講師 (2019年9月)

(6) 研究・教育活動に関するコメント

研究については、論文1本、判例評釈1本を執筆することができ、口頭報告を3件行なうことができた。消費者保護を目的とした科研費 (基盤研究(C)「契約不適合に基づく減額請求規定の活用による消費者保護」) を獲得できたこともあり、令和元年度は研究対象が消費者問題となっている。

地域連携について、適格消費者団体の理事として、特定適格消費者団体を目指し活動が続けるとともに、地域の方々への消費者問題の理解を深めるための講演をすることができた。当該団体の活動が津谷賞 (実践賞) を受けることになった。山形県の各種委員会委員の業務も行った。

教育について、主担当教員として修論執筆指導を行なった。卒論執筆学年の演習担当学生4名を含め計13名で演習を行なった。令和2年度からは卒論が必修となるので、11名の卒論執筆指導について工夫が必要である。講義については、法務実践科目である「消費者法務実践」を行なった。新カリキュラムの必修科目となったため、やる気に欠ける学生がいた。そのような学生にも積極的に参加してもらえる工夫が必要であると痛感した。

小幡 圭祐

(1) 研究成果 (著書)

[分担執筆]

- 帝国大学における研究者の知的基盤 東北帝国大学を中心として, こぶし書房, 2020年03月
担当: 第6章「熊谷岱蔵の知的基盤と戦時期東北帝国大学」
- 岩沼市史 第8巻 資料編V, 岩沼市, 2020年03月
担当: 第2章「産業・交通」第1節「農業」・第2節「水産業」・第3節「畜産業」・統計資料「米作」

(2) 研究成果 (論文)

[査読なし]

- ・熊谷岱蔵と戦時期東北帝国大学の研究体制構築, 科学史研究, 58 (290) 191-192, 2019年07月

(3) 研究成果 (学会発表)

【講演】

- ・2019年度山形史学研究会大会, 国内会議, 2019年09月, 山形大学地域教育文化学部1号館113教室, 山形県にサクランボを導入したのは三島通庸か?, 口頭 (招待・特別)

【研究報告】

- ・2019年度東北史学会大会, 国内会議, 2019年10月, 「盲印」「逆印」考, 口頭 (一般)
- ・第10回東北大学アーカイブズセミナー, 国内会議, 2020年03月, 山形大学成立史研究の現状と課題, 口頭 (一般)

(4) 研究成果 (その他)

【外部資金】

「近世・近代行政組織における意思決定慣行と制度形成に関する研究」文部科学省：科学研究費助成事業 (基盤研究C) 研究期間：2017年4月—2020年3月 代表者：籠橋俊光

(5) 教育, 地域連携等の活動

【教育】

○卒論指導

- ・正指導 = 日本古代史 (2名)・日本中世史 (2名)・日本近世史 (2名)・日本近代史 (1名)
- ・副指導 = 日本古代史 (2名)

○担当授業

- ・基盤共通教育 = 明治時代の文化と社会 (後期)
- ・専門教育 = 日本近代史概論 (前期)・日本近代史演習 (前期・後期)・日本近代史特殊講義b (後期)・日本歴史文化論 (前期・共担)・歴史学基礎演習b (前期・共担)
- ・大学院 = 日本近代史特論II (前期)・日本近代史特別演習 (後期)
- ・学外 = 地域史II (後期・福島大学行政政策学類)

【地域連携】

○学会・委員会等活動

- ・岩沼市史編集専門部会 (近代・現代部会), 調査執筆員, 2012年10月～継続中
- ・東北史学会, 評議員, 2019年10月～継続中

○学外での活動 (高大・地域連携等)

- ・地域と共に考えるまちづくり講座 (山形市中央公民館), 2019年09月
内容：「山形県初代県令 三島通庸の業績を探る」と題して市民向けの講座を行った。
- ・2020年台湾師範大学受け入れ事業「山形学」講座 (山形大学), 2020年02月
内容：「地図と写真から読み解く三島通庸の山形県都建設」と題して講義を行った。

(6) 研究・教育活動に関するコメント

上に挙げたもののほか、研究については、次年度刊行予定の著書 (分担執筆) の準備と論文の投稿を行いました。次年度も研究に教育に励みたいと思います。

柿並 良佑

(1) 研究成果 (著書)

共著：玉手 慎太郎・田畑 真一編・山本圭編『政治において正しいとはどういうことか？：ポスト基礎付け主義と規範の行方』、勁草書房、2019年4月。

(2) 研究成果 (論文)

- ・「キリスト教の非／脱構築——アンリとナンシー、否認された出会い」、『ミシェル・アンリ研究』日本ミシェル・アンリ哲学会、9巻、2019年6月、49-71頁。
- ・「断片の共同体——イエーナから〈われわれ〉へ」、日本シェリング協会編『シェリング年報』こぶし書房、第27号、2019年7月、40-49頁。

(3) 研究成果 (学会発表)

- ・“How does the ‘Techne’ use ‘us’?”, SmaSys 2019, MIRAI Hall, Yamagata University, Yonezawa, Japan, 10 October 2019.

(4) 研究成果 (その他)

- ・「情動(の政治)について考えるとはどのようなことか?」、第36回新潟哲学思想セミナー、新潟大学、2019年10月25日。

(5) 教育, 地域連携等の活動

- ・「現代思想論」ゲスト講義、新潟大学、2019年10月25日。

(6) 研究・教育活動に関するコメント

兼子 良久

(1) 研究成果 (著書)

兼子良久, 岩瀬敦智, 内田由里子『正しい判断をするための統計超入門』日本能率協会マネジメントセンター、2019年4月

内田 学, 兼子 良久, 平林 信隆, 宮島 裕, 岩瀬 敦智, 柴田 健一, 内田 由里子, 高瀬 浩『MBA エッセンシャルズ (第3版)』東洋経済新報社、2019年5月

(2) 研究成果 (論文)

兼子良久 (2019)「無料版が有料版の価値評価に与える影響—フリーミアム課金方式に関する考察—」経営行動研究年報 (28) 52-57

兼子良久 (2019)「消費者の価格感度に対するカントリー・オブ・オリジンの影響—消費者セグメンテーション視点からの考察—」日本言語文藝研究 (19) 249-272

(3) 研究成果 (学会発表)

兼子良久、価格複雑性が消費者の知覚価格に与える影響、第69回日本商業学会全国大会、2019年5月、日本商業学会

兼子良久、価格複雑性が消費者の知覚価格に与える影響、消費者行動と価格戦略研究会、2019年6月、日本マーケティング学会

兼子良久、定額料金制と従量料金制の選択傾向に関わる実証的考察、マーケティングカンファレンス2019、2019年10月、日本マーケティング学会

兼子良久、消費者の料金制選択に対する影響要因に関する考察—日本国内の消費者を対象とし

た実証分析一、台湾日本語言文藝研究學會第19回定例学会、2019年12月、台湾日本語言文藝研究學會

兼子良久、消費者の料金制選択に対する影響要因に関する考察、消費者行動と価格戦略研究会、2019年12月、日本マーケティング学会

兼子良久、定額料金制に関わる消費者の価格判断 日本ダイレクトマーケティング学会九州部会、2020年2月、日本ダイレクトマーケティング学会

(4) 研究成果（その他）

(5) 教育、地域連携等の活動

【担当科目】

- ・基盤：基幹科目（共生を考える）
- ・専門：マーケティング a・b、マーケティング演習、専門基礎演習、特別プログラム演習、総合講座Ⅲ（分担）

【地域連携等】

- ・山形県長井市長井創生会議委員
- ・出張講義：山形西高等学校

(6) 研究・教育活動に関するコメント

科学研究費補助金(基盤研究(C))による研究(最終年度)に関して、研究成果を積極的に公表した。

川村 一義

(1) 研究成果（著書）

(2) 研究成果（論文）

(3) 研究成果（学会発表）

(4) 研究成果（その他）

【書評】

木下真志『五五年体制と政権交代』（旬報社、2019年）をめぐって；『図書新聞』3422号

(5) 教育、地域連携等の活動

【担当科目】

公共政策学1・2，政治過程論1・2，政治学入門，公共政策学演習，総合講座Ⅰ（分担），公共政策・地域課題実践演習A2（分担）

【地域連携等】

- ・統一地方選に関する取材協力（読売新聞，毎日新聞），2019年04月
- ・模擬講義（新潟県立新発田南高等学校），2019年07月
- ・山形県朝日町議会議員研修会講師，2020年02月

(6) 研究・教育活動に関するコメント

清塚 邦彦

(1) 研究成果（著書）

(2) 研究成果（論文）

- (3) 研究成果 (学会発表)
- (4) 研究成果 (その他)
(研究活動)
 - 東北哲学会 委員
 - 美学会東部会2019年度第2回例会 (7月13日、東北大学川内キャンパス) にて司会 (発表は松崎俊之 (石巻専修大学) 「知覚的クオリアと美的クオリアに関する意識の高階表象理論にもとづく考察」)
 - 科学研究費補助金 基盤研究(C), 「画像の意味論に関する哲学的研究」 (研究代表者、2017年04月～2020年03月)
 - 日本学術振興会 特別研究員等審査会書面評価員, 2017年08月～2019年06月
- (5) 教育, 地域連携等の活動
 - (a) 担当授業
(基盤教育)
「哲学ってどんなこと? (哲学)」 (前期)
(専門教育)
「哲学概論」 (前期)、「記号論特殊講義」 (後期)、「哲学基礎演習」 (前期)、「哲学演習」 (前期・後期)、「課題演習 (哲学)」 (後期)
(大学院)
「英米哲学特論 I」 (前期)、「英米哲学特別演習」 (後期)、「思想文化特別研究 I」 (前期・後期)、「思想文化特別研究 II」 (前期)
卒論指導担当 正 4 名
修論指導担当 正 1 名
 - (b) 地域連携
 - ふすま同窓会山形地区令和元年度第 2 回談話会 (平成31年11月15日 (金)) において、「ロボットの心」と題して講演を行った。
- (6) 研究・教育活動に関するコメント

源島 穰

- (1) 研究成果 (著書)
- (2) 研究成果 (論文)
- (3) 研究成果 (学会発表)
 - (自由論題) 「政党と社会変化」 司会、日本比較政治学会第22回大会、2019年 6 月29日、筑波大学
- (4) 研究成果 (その他)
- (5) 教育, 地域連携等の活動
【担当科目】
 - 基盤: 政治学、日本国憲法、基幹科目 (共生を考える)
 - 専門: 行政学 a・b、行政学演習、総合講座 I (分担)

【地域連携等】

- 山形県社会福祉協議会運営委員
- 第25回参議院選挙に関する取材協力（山形テレビ）
- 山形市長選に関する取材協力（山形テレビ）
- 山形大学法学会・人文社会科学部共催 学術講演会 開催

近藤康史 教授（名古屋大学）「イギリス議会政治と EU 離脱」、2019年11月7日、山形大学

(6) 研究・教育活動に関するコメント

着任1年目ということもあり、教育と地域連携を中心に活動した。次年度は研究活動も充実させていきたい。

小泉 有紀子

(1) 研究成果（著書）

(2) 研究成果（論文）

- Koizumi, Y. (2019) . L2 processing of complex scope ambiguity in English -can perceivers learn to access non-structural cues? IEICE Technical Report（電子情報通信学会技術研究報告）, Vol.119, No.（思考と言語研究会 Proceedings）. pp.71-75.
- Koizumi, Y. (2020) . English sentence adverbials and truth-conditional meaning: A questionnaire study. Yamagata University Faculty of Humanities and Social Sciences Annual Research Report, Vol.16, pp.105-118.

(3) 研究成果（学会発表）

- Koizumi, Y., Demestre, J., Fernández, E. M., García-Albea, J. & Igoa, J.M. (2019) . On the role of non-syntactic factors in processing the Spanish no-porque ambiguity: two elicited production studies XIV International Symposium of Psycholinguistics @ URV Tarragona, Spain. April 12, 2019.
- Koizumi, Y. (2020) . L2 processing of complex scope ambiguity in English -can perceivers learn to access non-structural cues? MAPLL x TCP x TL 2019: Mental Architecture for Processing and Learning of Language (MAPLL) , Tokyo Conference on Psycholinguistics (TCP) , and the technical group of thought and language of the Institute of Electronics, Information and Communication Engineers (TL)
- 小泉有紀子(2020). 英語初中級学習者の文処理における韻律・文脈情報の利用可能性—自己ベース読み実験とトレーニングの効果の検討—
第45回全国英語教育学会弘前研究大会

(4) 研究成果（その他）

(5) 教育，地域連携等の活動

- 基盤教育：英語再履修クラス、総合英語、コミュニケーション英語S 専門教育：実践英語 a, b, 英語学演習 b, e-learning 大学院：心理言語学特論 心理言語学特別演習
- 出張講義「『ことばの知識』ってなんだろう？～英語と日本語から考える～」山形西高等学校
- 探究型学習推進講座Ⅱ～教科等における探究型学習の授業づくり～【英語】 山形県教育センター講師

・山形県英語教育研究会 東南置賜地区 中学校高等学校英語弁論大会審査委員 (委員長)

(6) 研究・教育活動に関するコメント

科研費研究の成果を国際ワークショップで発表することができ、また教育や地域連携にも呼んでいただき収穫の多い年となった。

合田 陽祐

(1) 研究成果 (著書)

(2) 研究成果 (論文)

合田陽祐「レミ・ド・ゲールモンの『シクスティヌ』再読——心理学の疾病研究の活用法を手がかりに——」、『Nord-Est』、日本フランス語フランス文学会支部会報、第13号、14～30頁、2020年 (査読有)。

(3) 研究成果 (学会発表)

合田陽祐「1890年代の象徴主義と小説——ゲールモンの『シクスティヌ』を中心に」、日本フランス語フランス文学会東北支部、於東北大学、2019年11月30日

(4) 研究成果 (その他)

合田陽祐「中村隆夫『象徴主義と世紀末世界』(改訂増補版、東信堂)書評」、一般紙、11月4日号、2019年11月 (依頼・招待有)

(5) 教育、地域連携等の活動

- ・内閣府・総合科学技術・イノベーション会議、エビデンス事業『みらいぶっく～学問・大学なび』の特設コーナー「こんな研究をして世界を変えよう」に、「もうひとつの「文学史」を書く！フランス文芸誌からの発掘作業」を寄稿 (依頼・招待有)。
- ・山形大学を準会場として、春と秋の2度、実用フランス語技能検定試験 (仏検) を開催。

(6) 研究・教育活動に関するコメント

(研究)

- ・科研費 (基盤(C)) の初年度の調査・研究・報告を行った。夏期休暇中にはフランス共和国パリ市に滞在し、資料調査を中心に行った。
- ・春に予定していた在外研究は、新型ウイルス流行により中止となった。

(教育)

- ・仏検では、5級 (春試験)・4級 (秋試験) とともに、担当クラスは全員が受験し、高い合格率を収めた。
- ・留学事前演習において指導する学生のうち、フランス国民教育省フランス語国際資格試験 (DELF) 取得者：A2 (2名)、B1 (2名)。
- ・アンジェ大学 (2名)、モンリオール大学 (3名) に留学していた学生たちが帰国した。

コーエンズ 久美子

(1) 研究成果 (著書)

(2) 研究成果 (論文)

「証券振替決済制度の柔軟の運用の視点」名城法学69巻1・2合併号

浅木慎一教授退職記念号（2019年11月）327頁～347頁

(3) 研究成果（学会発表）

(4) 研究成果（その他）

消費者法情報『現代消費者法』44号（2019年9月）100頁～102頁

(5) 教育，地域連携等の活動

[担当授業]

基盤教育基幹科目（共生を考える）、会社法1、2、商法1、2、商法演習、国際取引マネジメント論（理工学研究科）

[地域連携活動]

山形地方最低賃金審議会公益委員、東北地方社会保険医療協議会山形部会公益委員

(6) 研究・教育活動に関するコメント

分散台帳技術を利用した権利移転システムの法規制、カスタディアンと顧客の関係などについて、欧米の動向を踏まえつつ、学外研究者と連携しながら研究を進めている。また、2018年より開始したわが国の企業金融に関する学術研究について、共同研究者とインタビュー調査のまとめを行っているところである。中間報告的な論文を2020年中に仕上げる予定である。

教育面では、恒例の愛知大学、立命館大学との合同ゼミ合宿を本校で実施した。大学別チーム対抗、混合チーム対抗で、株主総会決議の効力に関するテーマについてディベートを行った。学生は、他大学の学生との合宿のための事前連絡、合同ゼミおよび自由時間における交流など、極めて有意義な経験をしたと思う。

是川 晴彦

(1) 研究成果（著書）

(2) 研究成果（論文）

是川 晴彦，高橋 和，砂田 洋志，山田 浩久，阿部 晃士，山本 匡毅，吉原 元子，「国道 347 号通年通行による地域活性化効果の調査研究」、『東北経済学会誌』，2020年3月，39-104，査読あり

(3) 研究成果（学会発表）

是川 晴彦，砂田 洋志，ほか「国道 347 号通年通行による地域活性化効果の調査研究」，東北経済学会，2019年8月，山形大学

(4) 研究成果（その他）

(5) 教育，地域連携等の活動

[担当授業]

ミクロ経済学1，ミクロ経済学2，ミクロ経済学3，公共経済学，経済数学，ミクロ経済学演習，公共経済学特論，公共経済学特別演習

[地域連携]

- ・山形県（産業構造審議会委員，入札監視委員会委員長）
- ・山形市（行財政改革推進懇話会座長，消費生活審議会会長，連携中枢都市圏ビジョン懇談会座長）
- ・天童市（天童市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議委員，天童市振興審議会委員）
- ・寒河江市（さがえ未来創生戦略に係る外部有識者会議座長，振興審議会会長）

- 東北地方整備局入札監視委員
- 山形県長寿医療懇談会会長
- きらやかマネジメントスクールの企画・運営および講義担当

(6) 研究・教育活動に関するコメント

やまがた地域社会研究所が受託した国道347号通年通行に関する研究の成果をとりまとめ、東北経済学会で報告した。その内容は東北経済学会誌に掲載された。

教育面では、新カリキュラムに対応した講義資料の作成・修正を継続して行った。内容や講義順序を見直し、受講生がミクロ経済学の主要な理論や考え方を段階的に学べるように工夫した。

今野 健一

(1) 研究成果 (著書)

著書 (共著) 『現代憲法入門』〔只野雅人 = 松田浩編〕(法律文化社、2019.5.20) 〈「第14章：生存権と教育を受ける権利」、「第19章：憲法の最高法規性と憲法改正」の項目を執筆〉 pp.284-298, 346-370.

著書 (共著) 『憲法判例百選Ⅱ〔第7版〕』〔長谷部恭男 = 石川健治 = 宍戸常寿編〕(有斐閣、2019.11.30) 〈「136 教育を受ける権利と教育権—旭川学テ事件」を執筆〉 pp.296-297.

(2) 研究成果 (論文)

(3) 研究成果 (学会発表)

(4) 研究成果 (その他)

『教育小六法 (2020年版)』〔市川須美子 = 勝野正章 = 窪田眞二 = 今野健一 = 中嶋哲彦・編集委員〕(学陽書房、2020.1.24) 〈編集委員として編集・執筆〉

(5) 教育、地域連携等の活動

• 教育

専門科目：憲法3、憲法4、憲法演習Ⅱ、専門基礎演習、総合講座Ⅱ

基盤科目：日本国憲法、基幹科目 (共生を考える)

• 地域連携等

山形市情報公開・個人情報保護審査会委員、山形県後期高齢者医療広域連合情報公開・個人情報保護審査会委員、山形県広域環境事務組合情報公開・個人情報保護審査会委員

(6) 研究・教育活動に関するコメント

研究面では、憲法学の概説書を分担執筆し、判例解説書に判例解説を執筆した。また、教育法規集の編集委員に就任し、編集・執筆作業を行った。教育面では、質問カードで学生の疑問をこまめに引き出し、詳細な書面を作成してこれに回答することにより、学生の理解促進と学習意欲の向上に努めた。専門演習では、4年生の卒業研究論文 (ゼミ論) の指導を継続的に行い、最終的に論文集として取りまとめた。

坂井 正人

(1) 研究成果 (著書)

Juan Pablo Villanueva, Johanna Broda, Masato Sakai (eds.)

Deidades, paisajes y astronomía en la cosmovisión andina y mesoamericana
Universidad Ricardo Palma, 2019.11.

青山和夫, 米延仁志, 坂井正人, 鈴木紀 (編)

『古代アメリカの比較文明論：メソアメリカとアンデスの過去から現代まで』
京都大学出版会、2019.09.

(2) 研究成果 (論文)

Masato Sakai

Eligiendo el lugar para construir el templo: el caso de Cuzco, Vilcabamba y Chan Chan. Deidades, paisajes y astronomía en la cosmovisión andina y mesoamericana. pp.299-318. Juan Pablo Villanueva, Johanna Broda y Masato Sakai (eds.) Universidad Ricardo Palma. 2019.11.

坂井正人

「ナスカ台地の地上絵：ナスカ早期からインカ期までの展開」『古代アメリカの比較文明論：メソアメリカとアンデスの過去から現代まで』 pp.140-158, 2019.09.

坂井正人・青山和夫

「アンデス比較文明論：アンデス文明の展開と調査成果」『古代アメリカの比較文明論：メソアメリカとアンデスの過去から現代まで』 pp.133-139, 2019.09.

青山和夫, 坂井正人, 鈴木紀, 米延仁志

「メソアメリカとアンデスの比較文明論」『古代アメリカの比較文明論：メソアメリカとアンデスの過去から現代まで』 pp. 403-433, 2019.09.

Masaki Eda, Takeshi Yamasaki, Masato Sakai

Identifying the bird figures of the Nasca pampas: An ornithological perspective.

Journal of Archaeological Science: Reports, Volume 26, 101875. 2019.08.

(3) 研究成果 (学会発表)

Masato Sakai y Jorge Olano

Investigaciones en la Pampa de Nasca y Trabajos de Protección en los Geoglifos de Aja “Investigación Arqueológica y Protección del Patrimonio Cultural en el Perú desde una Perspectiva de la Misión Japonesa Arqueológica”, VI Congreso Nacional de Arqueología”. 2019.08.13.

Masato Sakai

Tres vías en las Pampas de Nasca. Simposio Internacional “Interacción y Dinamismo Social en los Andes y la Mesoamerica” Instituto Nasca de la Universidad de Yamagata. 2019.08.29

Masato Sakai y Jorge Olano

Nuevos Aportes a la Investigación Arqueológica de los Geoglifos de las Pampas de Nasca. "100 Años de Fundación del Museo de Arqueología y Antropología de la UNMSM". Centro Cultural de San Marcos. 2019.10.25.

坂井正人

「ナスカー地上絵の調査、発見そして保存」『ペルー日本人移住120周年・日本ペルー交流年記念シンポジウム：ペルーの文化遺産保護の最前線—アンデスの黄金、ナスカの地上絵、インカのミイラー』(東京文化財研究所) 2019.12.14.

Masato Sakai y Jorge Olano

Líneas y geoglifos de Nasca, Patrimonio Mundial de la UNESCO: Investigaciones, Descubrimientos y Protección de los Geoglifos. Simposio “Arqueología y Patrimonio Cultural de la Costa y Sierra Sur del Perú”. 2020.01.11.

(4) 研究成果 (その他)

Masato Sakai, Yuichi Matsumoto (eds.)

Peruvian Archaeology. Vol.3. Instituto Nasca de la Universidad de Yamagata, 2020.03.

(5) 教育, 地域連携等の活動

Masato Sakai

Avances en la Investigación Arqueológica y la protección de las Líneas y Geoglifos de Nasca. Sala Jinnai, Centro Cultural Peruano-Japonés. 2019.10.09.

都立中央図書館企画展

『¡Vamos al Perú! ~ペルーに渡った日本人~』(展示協力) 2019.02.23-05.26

(6) 研究・教育活動に関するコメント

- 2019年度は主に「山形大学ナスカ研究所」に勤務した。
- 大学院生(修士課程)を対象とした授業を主に担当した。また学部の課題演習(文化人類学)でナスカ実習を10月に実施した。
- 人工知能を用いて発見した地上絵(1点)を含む、143点の地上絵の発見について11月15日に記者会見を行った。またその際に、山形大学とIBMの間でナスカ地上絵に関する学術協定を締結したことを発表した。
- ペルー文化省と協議して、2015年に締結した特別協定(ナスカ地上絵の学術研究と保護)をさらに4年間延長することを決めた。
- Simposio “Arqueología y Patrimonio Cultural de la Costa y Sierra Sur del Perú”(主催:山形大学・国立民族学博物館・文化庁、2020年1月11日、Museo Antonini)と「ペルーの文化遺産保護の最前線-アンデスの黄金、ナスカの地上絵、インカのみイラー」(主催:国立民族学博物館・文化庁、共催:山形大学ほか、2019年12月14日、東京文化財研究所)を開催した。なお、米国(北アリゾナ大)で実施する予定であった国際シンポジウム(主催:山形大学)はCOVID19のため延期した。

坂本 直樹

(1) 研究成果 (著書)

Resilience and Urban Disasters: Surviving Cities, K. Borsekova, T. İ. Çekiç, M. Dobřík, K. Fabián, R. Fabling, D. Felsenstein, R. Goncharov, A. Grimes, A. Y. Grinberger, Y. Ishikawa, M. Morisugi, K. Nakajima, P. Nijkamp, M.D. Özügül, F. Pagliacci, M. Russo, L. Rýsová, N. Sakamoto, E. Seçkin, M. Taheri Tafti, L. Timar, N. Zamyatina 著, 2020.1, Edward Elgar Publishing.

(2) 研究成果 (論文)

相対的リスク回避度を考慮した幸福度調査による統計的生命価値の属性別計測, 森龍太・坂本直樹・中畠一憲・大野栄治・森杉雅史・供田豪著, 2019.4, 土木学会論文集 G (環境) (地球環境

研究論文集第27巻), Vol.75, No.5, pp.I_201-I_209.

日本における民主主義の経済成長効果に関する実証的試論, 坂井吉良・坂本智幸・坂本直樹・瀧本太郎・中寫一憲, 2019.9, 政経研究(日本大学法学会), 第56巻, pp.461-494.

(3) 研究成果(学会発表)

(4) 研究成果(その他)

(5) 教育, 地域連携等の活動

宇都宮大学地域デザイン科学部 非常勤講師

東北学院大学経済学部 非常勤講師

東北文化学園大学医療福祉学部・科学技術学部 非常勤講師

公益財団法人東北自治研修所 非常勤講師

山形大学生生活協同組合監事

山形県指定管理者審査委員会委員

山形労働局公共調達監視委員会委員

山形県立寒河江工業高等学校改築整備事業に係る事業者選定審査委員会委員

(6) 研究・教育活動に関するコメント

洋書の執筆に関わったほか、費用便益分析および民主主義の実証分析に関する研究に従事して論文公表した。

佐藤 清人

(1) 研究成果(著書)

(2) 研究成果(論文)

(3) 研究成果(学会発表)

(4) 研究成果(その他)

(5) 教育, 地域連携等の活動

- ・担当授業:(基盤教育)総合英語
(専門教育)英米文化論
(大学院)現代外国語(英語)

- ・出張講義:福島県立喜多方高等学校(令和1年9月27日)
講義題目「太平洋戦争と日系アメリカ人」

(6) 研究・教育活動に関するコメント

日系アメリカ人三世の描く「強制収容物語」の研究を継続中

下平 裕之

(1) 研究成果(著書)

(2) 研究成果(論文)

下平裕之「経済学史研究におけるテキストマイニングの導入ーその手法と意義を中心に」『経済学史研究』61-1,104-123ページ.

(3) 研究成果(学会発表)

小峯敦・下平裕之「質から量に迫る—テキストマイニングと経済学史の方法」経済学史学会第83回大会, 2019年6月2日, 福岡大学.

(4) 研究成果 (その他)

(5) 教育, 地域連携等の活動

• 教育活動

山形大学における担当授業:

[学部] 経済思想, 経済学史, 経済学史演習, 地域づくり特別演習

[大学院] イギリス経済学史特論・特別研究

[基盤教育] Jリーグと地域社会

非常勤: 放送大学 (客員教授), 羽陽短期大学 (経済学), 東北文教大学 (地域と観光)

その他: 基盤共通教育基幹科目部門長, 地域創生教育センター長

• 地域連携活動

山形財務事務所財務モニター

山形大学まちづくり研究所・山形仙台圏交流研究会への参加

やまがた若者チャレンジ応援事業審査委員長

山形県職業能力開発審議会会長

山形県公共事業評価監視委員会委員

上山市振興審議会委員

長井市レインボープラン活動評価分析 (市民アンケート担当)

市民向け講演会 (山形市, 米沢市)

(6) 研究・教育活動に関するコメント

科研費 (基盤研究(B)) による「テキストマイニングによる経済学の大衆への普及のプロセス研究」というテーマで引き続き研究を進め、今年度は学会誌への論文掲載と、全国大会における報告を行った。また地域連携活動 (長井市レインボープラン市民アンケート) にもテキストマイニング分析を適用し、市民アンケートの自由記述から多くの新たな知見を得ることができた。

杉野 誠

(1) 研究成果 (著書)

(2) 研究成果 (論文)

“Determinants of household energy efficiency investment: Analysis of refrigerator purchasing behavior,” International Journal of Economic Policy Studies, Vol. 13, 389-402, 2019 (co-author Jiaying Wang, Shigeru Matsumoto) .

“Labor Market Distortions and Welfare-Decreasing International Emissions Trading” Environmental and Resource Economics, On line first, 2019 (co-author Shiro Takeda, Toshi H. Arimura) . <https://doi.org/10.1007/s10640-018-00317-4>.

(3) 研究成果 (学会発表)

(4) 研究成果 (その他)

(5) 教育, 地域連携等の活動

山形県総合政策審議会委員を含む委員として地域への貢献を行った。

(6) 研究・教育活動に関するコメント

本年度は、多くの地域連携を行うことができた。今後も研究と地域貢献に尽力していきたいと考えている。

鈴木 亨

(1) 研究成果（著書）

住吉誠・鈴木亨・西村義樹（編）『慣用表現・変則的表現から見える英語の姿』開拓社。

(2) 研究成果（論文）

鈴木亨（2019a）「活動動詞を含む属性評価文の拡張と両義的解釈」住吉誠・鈴木亨・西村義樹（編）『慣用表現・変則的表現から見える英語の姿』188-204, 開拓社。

鈴木亨（2019b）「創造的逸脱を支えるしくみ— Think different の多層的意味解釈と参照のネットワーク」森雄一・西村義樹・長谷川明香（編）『認知言語学を紡ぐ』, 47-69, くろしお出版。

(3) 研究成果（学会発表）

(4) 研究成果（その他）

(5) 教育、地域連携等の活動

- ・担当授業：総合英語、コミュニケーション英語、英語学特殊講義、日英対照言語学講義、e-learning、英語語法論特論
- ・教員免許状更新講習：「文法と言語使用—変異と変化から考える現代英語の姿」（2019年8月）
- ・課題研究：「イギリスとアメリカの方言の違いについて」（山形県立長井高等学校）（2019年8月）
- ・出張講義：「Think Different の言語学—変則的・逸脱的な用例から英文法について考える」（福島県立福島南高等学校）（2019年10月）
- ・放送大学面接授業：「英語の歌は何を歌っているのか」（放送大学山形学習センター）（2019年12月）

(6) 研究・教育活動に関するコメント

研究論文2本を書籍（論文集）で発表することができた。

砂田 洋志

(1) 研究成果（著書）

(2) 研究成果（論文）

「閾値対数 ACD モデルの理論と実証—東京金先物市場への応用—」, 山形大学紀要 (社会科学), 第50巻第2号, pp.1-15, 2020年2月。

(3) 研究成果（学会発表）

「国道347号通年通行による地域活性化効果の調査研究」、第73回東北経済学会、令和元年8月31日、山形大学人文社会科学部。

「閾値対数 ACD モデルの理論と実証—東京金先物市場への応用—」、第73回東北経済学会、令和元年8月31日、山形大学人文社会科学部、（共同報告）

(4) 研究成果（その他）

「西村山地域における通院に係る交通手段実態調査」の報告書、西村山地域広域連携協議会か

らの委託研究, 2020年3月, 35ページ.

「国道347号通年通行による地域活性化効果の調査研究」東北経済学会誌, 第73巻第1号, pp.39-104, 2020年3月 (共著).

(5) 教育, 地域連携等の活動

担当授業

計量経済学1・2、統計学1・2、演習(学部)、統計学基礎(ジェネリックスキル科目)、経済統計論(福島大学経済経営学類)

地域連携

国土交通省東北地方整備局の入札監視委員会

山形県統計利用アドバイザー

山形県行政支出点検・行政改革推進委員会の委員長

山形労働局山形地方労働審議会委員

高校訪問(山形県立山形東高校, 令和元年10月4日)

山形県市町村職員共済組合と同互助会の学識経験監事

西村山地域広域連携協議会委員会委員

天童市振興審議会の委員長

(6) 研究・教育活動に関するコメント

高頻度の金融データに関する論文を公刊することができた。令和2年度は Hawkes モデルを用いた実証分析を行いたいと考えている。

統計学演習において指導した4年生の中で6人が卒業論文を提出した。何度も指導しなければならず大変であったが、充実していた。

摂津 隆信

(1) 研究成果(著書)

(2) 研究成果(論文)

(3) 研究成果(学会発表)

(4) 研究成果(その他)

(5) 教育, 地域連携等の活動

基盤共通教育ドイツ語 I/II、ドイツ語 IC/IIIC、ドイツ文化論、ドイツ文化演習、時事ドイツ語、ドイツ文化論特論(大学院)、山形大学朗読コンクール審査員、井上ひさし『父と暮せば』(2019年9月15日山形大学文化ホールにて)上演協力、異文化間コミュニケーション1(ドレスデン研修)

(6) 研究・教育活動に関するコメント

この年度から異文化間コミュニケーション1としてドレスデン研修(ドイツ)を行うこととなった。参加人数も8名で、コロナ禍で普段はなかなかできない体験もあったが、上場の成果を残せたと思う。ドレスデン研修の準備、その他授業、学内業務諸々もできる限りの努力でこなしていったが、これらの仕事に忙殺され、思うように研究ができなかったのが反省点である。

高倉 新喜

(1) 研究成果（著書）

(2) 研究成果（論文）

- ・高倉新喜「被疑者取調べの録音・録画記録媒体の実質証拠化と実質証拠利用について」山形大学法政論叢73号（2020年）47-81頁
- ・高倉新喜「最新判例演習室—情況証拠による詐欺の故意および共謀の推認」法学セミナー772号（2019年）122頁
- ・高倉新喜「最新判例演習室—再審公判での証拠調べ手続の在り方」法学セミナー775号（2019年）122頁
- ・高倉新喜「最新判例演習室—交通反則告知書の受領拒否（道交法130条2号）の成否」法学セミナー778号（2019年）122頁
- ・高倉新喜「最新判例演習室—裁判員裁判における複数鑑定」法学セミナー781号（2020年）124頁

(3) 研究成果（学会発表）

2020年1月25日（土）第4回刑事訴訟実務と理論研究会で判例報告

大阪地判令和元・9・25平成29年（わ）第4352号

（於：龍谷大学至心館）

(4) 研究成果（その他）

(5) 教育，地域連携等の活動

〈教育〉

法と裁判、刑事法基礎2、刑事訴訟法1、刑事訴訟法2、刑事訴訟法演習、裁判員制度—刑事司法との共生を考える（共生を考える）、総合講座Ⅱ、教職実践演習を担当。

〈地域連携等の活動〉

- ・山形県精神医療審査会委員
- ・山形県弁護士会綱紀委員会予備委員
- ・山形地方裁判所簡易裁判所判事推薦委員会委員
- ・山形県教職員法令遵守委員会委員長

(6) 研究・教育活動に関するコメント

2014年度から6年間継続してきた法学セミナーの最新判例演習室の刑事訴訟法のコーナーの担当を2019年度で終了した。

基盤教育においては、「裁判員制度—刑事司法との共生を考える（共生を考える）」で学生に裁判傍聴レポートを課すことにより現地学習をさせた。

刑事訴訟法演習においては、山形刑務所見学を実施することにより、学生に現地学習をさせた。

刑事法基礎2においては、刑事訴訟法の基礎的事項を学生に修得させ、刑事訴訟法1・2においては、事例問題を中心に講義を行うことにより、刑事手続で起こる具体的問題について学生に考えさせるようにした。

高橋 良彰

- (1) 研究成果 (著書)
- (2) 研究成果 (論文)
- (3) 研究成果 (学会発表)
- (4) 研究成果 (その他)

安達峰一郎研究資料室ブログに「1900年パリ万博前後の安達夫妻 (その2) 岡村司『西遊日誌』と『安井てつ書簡集』から」と題して、7回にわたって岡村司と安達との交流や安井てつと安達夫人との交流などについて連載した。

- (5) 教育, 地域連携等の活動

米沢にある我妻栄記念館に来訪した研究者に記念館の展示資料などを説明するとともに、年度末には同記念館を学生とともに訪れるなど、交流をもった。

- (6) 研究・教育活動に関するコメント

日本司法書士会連合会の委託により、『日本司法書士史』の編集に引き続きとりくんでいる。

高橋 真彦

- (1) 研究成果 (著書)
- (2) 研究成果 (論文)
- (3) 研究成果 (学会発表)

Takahashi, Masahiko (2019) "Raising to Object, Clausal Arguments, and Labeling." Keio-Nanzan One Day Workshop on Minimalist Syntax, 慶應義塾大学.

- (4) 研究成果 (その他)

- (5) 教育, 地域連携等の活動

総合英語、コミュニケーション英語、英作文 (中級)、生成文法論特論 II、実践英語 e、e-learning、生成文法論特別演習、実践英語 f、言語学演習、卒業論文

- (6) 研究・教育活動に関するコメント

科研費 (若手研究) プロジェクト「併合に基づく格付与の比較統語論研究」の研究を行った。

竹内 麻貴

- (1) 研究成果 (著書)

(分担執筆) 竹内麻貴「台湾 第5章 福祉と経済: 女性の労働力参加に焦点をあてて」上村泰裕編『新世界の社会福祉 第7巻 東アジア』旬報社, 2020年3月5日.

- (2) 研究成果 (論文)
- (3) 研究成果 (学会発表)
- (4) 研究成果 (その他)

竹内麻貴, 2020「子どもの誕生が親の健康に与える影響の基礎的分析」『東京大学社会科学研究所パネル調査プロジェクト ディスカッションペーパーシリーズ』117: 1-12.

- (5) 教育, 地域連携等の活動

【学部教育】

社会調査法基礎, 家族社会学, 専門基礎演習, 家族社会学演習, 公共政策・地域課題実践演習
A4, 社会科学英語演習, 卒業研究指導 (正: 1名, 副: 2名)

【大学院教育】

調査の方法

【地域連携】

「山形市仕事の検証システム」外部検証委員

(6) 研究・教育活動に関するコメント

- 旬報社創立70周年記念企画『新世界の社会福祉』(全12巻)シリーズのうち, 東アジアの社会福祉に関する書籍の台湾第5章部分を執筆した。
- 科研費「若手研究」の一環として, インターネット調査を行う準備を調査会社とすすめた。
- 教育活動においては, 4年生1名の卒業研究指導と並行して大学院進学相談にのり, 無事に志望通り進学させることができた。

溜川 健一

- (1) 研究成果 (著書)
- (2) 研究成果 (論文)
- (3) 研究成果 (学会発表)
- (4) 研究成果 (その他)

第73回 東北経済学会 討論者

(5) 教育, 地域連携等の活動

模擬講義

(6) 研究・教育活動に関するコメント

時任 翔平

- (1) 研究成果 (著書)
- (2) 研究成果 (論文)

Tokito, Nagashima, Hanaka, 「Boosting Economic Competitiveness: The Industrial Clusters in Input-Output Networks」, 九州大学リポジトリ <2320604>

Tokito, 「Hypothetical Extraction Method versus Betweenness Centrality for CO2 Emission Attribution in a Supply Chain」, 九州大学リポジトリ <2320603>

Tokito, 「Key Sectors and Linkages in the Complex Global Supply Chain Network」, 博士論文、九州大学

(3) 研究成果 (学会発表)

Tokito, Nagashima, Hanaka, 「Boosting Economic Competitiveness: The Industrial Clusters in Input-Output Networks」 The 27th International Input-Output Conference, Glasgow University, United Kingdom, 2019年7月

(4) 研究成果 (その他)

(5) 教育, 地域連携等の活動

• 担当授業：国際経済学 b

(6) 研究・教育活動に関するコメント

これまでの研究の成果をまとめることができ、新しい研究テーマにも着手できた

富澤 直人

(1) 研究成果 (著書)

(2) 研究成果 (論文)

“Predicate NP movement in tough-constructions,” Yamagata University Faculty of Humanities and Social Sciences Annual Research Report 17, 19-43. (2020/03)

(3) 研究成果 (学会発表)

(4) 研究成果 (その他)

(5) 教育, 地域連携等の活動

教育活動

- 基盤教育：総合英語、言語は臓器である (言語学)
- 学部教育：英語学概論、英語学特殊講義 b、e-learning
- 大学院教育：英語学特論 II、英語学特別演習
- 卒業論文 (副指導)
- 研究生指導 (2019/04-09)

地域連携等の活動

- 山形大学 (学部) 説明会 @ 仙台会場 (2019/06)

(6) 研究・教育活動に関するコメント

富田 かおる

(1) 研究成果 (著書)

富田かおる (2019) 「第1章 音声の理論」『小学校英語のためのスキルアップセミナー 理論と実践を往還する』鈴木渉・西原哲雄編、14-21、開拓社

(2) 研究成果 (論文)

Kaoru TOMITA, (2020) . Global Competence Cultivated by Overseas Training, TOHOKU TEFL Vol. 8, 1-8.

(3) 研究成果 (学会発表)

(4) 研究成果 (その他)

(5) 教育, 地域連携等の活動

英語学演習、言語学講義、実践英語担当

(6) 研究・教育活動に関するコメント

言語音声学習の題目に加え、社会言語学からの見地を取り入れ研究と教育活動を行った。

中澤 信幸

(1) 研究成果（著書）

(2) 研究成果（論文）

- 20世紀初頭台湾語語彙の残存状況について，中澤信幸・岩城裕之（共著），『天理臺灣學報』28（天理台湾学会），pp.31-50, 2019年7月
- 「俗音」考，『山形大学大学院社会文化システム研究科紀要』16, pp.70-59（右 pp.1-12），2019年9月

(3) 研究成果（学会発表）

- 王育徳の閩音系分布概況および親疎関係研究再考 — 『閩音系研究』第1・2章一，天理台湾学会第29回研究大会，2019年7月6日
- 慣用音と呉音とのほごま — 現代漢和辞典と近世法華経字音一，宋在漢・中澤信幸（共同でプレス発表），日本語学会2019年度秋季大会，2019年10月27日

(4) 研究成果（その他）

(5) 教育，地域連携等の活動

〔担当授業〕

- 学部専門科目：日本語 a，日本語学概論，日本語学基礎演習 b，日本語学特殊講義 b，日本語学演習 a，課題演習（日本語学），課題演習（日本語教育），人間文化入門総合講義
- 大学院科目：日本語史特論Ⅱ，日本語史特別演習
- 基盤教育科目：山形の方言と日本語（山形から考える）

〔卒業論文〕

- 日本語書記体系の実情 — 漢字・平仮名・片仮名について—
- 外国人留学生の就職に対する意識 — 山形の留学生を中心として—

〔修士論文〕

- 日中における漢語の借用について — 同形類義語を中心として—
- 日中同形類義語の対照研究 — 「終わる」「切る」「尽くす」と共起する二字同形サ変動詞を中心—to
- 日中の日本語教科書における文法項目の提出方法に関する対照研究

〔地域連携〕

- 王育徳の台湾語研究の意味，一般社団法人日台政策研究所 山形大学都市・地域学研究所共催シンポジウム「『昭和』を生きた台湾青年 王育徳 — 日本で育まれた台湾の民主化運動—」，山形大学人文社会科学部，2019年8月25日
- 山形市と台南市の「都市」の魅力再発見 — 歴史と文化に注目して—，台湾・国立成功大学文學院，2019年11月14日（共催者として開催に携わる）
- 台湾総統選挙とこれからの日台関係，一般社団法人日台政策研究所 山形大学都市・地域学研究所共催 セミナー「日台関係のこれから」，山形大学人文社会科学部，2020年2月15日

(6) 研究・教育活動に関するコメント

研究面では，前年度から日本学術振興会外国人特別研究員を受け入れたことにより，科学研究費助成事業（科学研究費補助金，特別研究員奨励費，研究課題名：中近世日本における韻書受容

と法華経字音学の変容, 課題番号:18F18006, 研究期間:平成30~31年度, 研究代表者:中澤信幸)による研究活動を行った。また, 新たに台湾の言語学者で政治活動家でもあった, 王育徳に関する研究にも着手した。

教育面では, 学部卒業論文2本, 大学院修士論文2本の研究指導を行った。平成28年度より継続して, 「課題演習 (日本語学)」で方言に関するPBL授業を実施し, 河北町へ学生を引率して方言調査を行った。また, 新たに「課題演習 (日本語教育)」を実施し, 外国人留学生にも協力してもらって, 日本語教育実習を行った。

地域連携面では, 平成29年度に設立した日台政策研究所の活動を継続し, 国際シンポジウムおよびセミナーで講演を行った。

中島 宏

(1) 研究成果 (著書)

只野雅人・松田浩編『現代憲法入門』(法律文化社、2019年5月)

(2) 研究成果 (論文)

「選挙の重要性と民主主義論について」日本の科学者54号6~12頁 (2019年6月)

「死刑と残虐な刑罰」憲法判例百選Ⅱ [第7版] (2019年11月)

(3) 研究成果 (学会発表)

La liberté religieuse de l'empereur et le principe de séparation entre l'État et l'église, XIIIe Séminaire Franco-japonais de droit public, 13 septembre 2019, Université de Reims, France

(4) 研究成果 (その他)

(5) 教育, 地域連携等の活動

- ・審議会: ①山形市個人情報保護制度運営審議会 (副会長)、②天童市情報公開・個人情報保護審査会、③山形県後期高齢者医療広域連合個人情報保護制度運営審議会
- ・人文社会科学部公開講座『多文化共生と日本』:「フランスにおける共生の作法」(9月24日)
- ・出張講義: ①山形大学2019オースタムキャンパス (10月26日)、②会津高校「会津大学講座」(11月16日)

(6) 研究・教育活動に関するコメント

本年度は、1年間の総履修者数(基盤+専門)が初めて1000人を超え、疲労困憊した。レポートの採点や成績評価だけで大変な負担となった。履修者数が増えても、負担が増えるだけである。次年度以降、一定の抑制をする必要性を痛感した。

中村 篤志

(1) 研究成果 (著書)

(2) 研究成果 (論文)

- ・中村篤志, Sh. ムンフバートル「清代モンゴルのフレイ以南14駅に関する基礎的考察」『内陸アジア史研究』34、2019年3月(刊行は6月)、pp.95-118 [査読有り]

(3) 研究成果 (学会発表)

[国際会議]

- ・中村篤志「結集するハラチン・ディアスポラ：遊牧社会における駅の諸相」国際シンポジウム「清帝国におけるモビリティ再考：モンゴルの場合」、2019年7月20日、仙台、東北大学

(4) 研究成果（その他）

- ・中村篤志「留まるモンゴル人・行き交う漢人：清代の駅・隊商路をめぐって」山形大学公開講演兼研究成果報告会「遊牧社会の「日常」を描く：清代モンゴル史研究の新視角」2019年7月25日

(5) 教育，地域連携等の活動

[海外講演]

- ・ Дроноор харагдах Монголын хот балгад, түүний түүхэн ач холбогдол（ドローンからみたモンゴルの城郭遺構、その歴史的価値）モンゴル日本センター公開講座、2020年1月25日、ウランバートル

[国内講演]

- ・「モンゴル高原を空から見る：ドローンを使った歴史研究」東北学院大学・アジア流域研究所主催公開講演会「フィールドワークを楽しむⅢ」、2019年10月19日

[教育活動]

- ・2019年7月9日：学部とモンゴル日本人材開発センターとの間で交わされた学生研修に関する協定書について、コーディネートをを行った。<https://www-hs.yamagata-u.ac.jp/news/news/4299/>
- ・異文化コミュニケーション1（モンゴル）として、上記開発センターと研修プランを作った（コロナの影響で派遣は中止）。
- ・2019年7月25日：個人科研費の成果報告会として、学部の公開講演会「遊牧社会の「日常」を描く：清代モンゴル史研究の新視角」を開催し、共同研究者のモンゴル国立大学オユンジャル先生とともに、成果報告を行った。<https://www-hs.yamagata-u.ac.jp/news/event/4254/>

(6) 研究・教育活動に関するコメント

- ・研究面では、昨年度半年間のモンゴル国での国際共同研究の成果を公開することができた。国際共著論文が全国査読誌に掲載されたほか、国際学会での発表、海外での講演など海外に発信する機会を得た。国内向けには、学部公開講演を企画・実施することで、とくに本学部学生に最新成果を還元することができた。
- ・教育面では主にモンゴルとの交流事業に力を入れた。モンゴル日本人材開発センターと交わされた研修協定は、全国でも先駆的な取り組みである。第一期の学生を派遣する直前までいったが、コロナの影響で断念した。今後充実させていきたい。また私費外国人入試のモンゴル会場における試験実施にも尽力した。
- ・その他、新大学院設置に向け、将来構想委員として企画・調整などを行った。

西岡 正樹

- (1) 研究成果（著書）
- (2) 研究成果（論文）

「常習犯規定に関する一考察(1)」法政論叢72号（2019年11月）1-42頁

- (3) 研究成果（学会発表）

(4) 研究成果 (その他)

(5) 教育, 地域連携等の活動

教育活動について、総合講座Ⅱ、刑事法基礎1、刑法1、刑法2、刑法3、刑法4、刑法演習の授業を担当。

地域連携等活動について、高大連携として、「山形東高校探求塾Ⅱプレ発表会」(2019年7月)にて講師を担当。学外委員として、山形地方裁判所委員会委員、山形市国民健康保険運営協議会委員、山形市公設地方卸売市場取引委員会委員長、山形市公設地方卸売市場経営戦略(経営展望)策定懇話会座長等を担当。

(6) 研究・教育活動に関するコメント

研究活動について、科学研究費補助金(基盤研究(C))による研究(最終年度)を継続的に行ない、研究成果の一部を公表した。教育活動について、昨年度の授業評価等を踏まえつつ、特に学生の理解が不十分であった点について解りやすい授業実践に努めた。

西上 勝

(1) 研究成果 (著書)

(2) 研究成果 (論文)

「二十世紀三十年代中国の旧形式をめぐる美術評論について」(中国詩学研究会(五皓))令和元年7月

(3) 研究成果 (学会発表)

(4) 研究成果 (その他)

(5) 教育, 地域連携等の活動

[担当授業]

専門教育: 中国文学概論など

基盤教育: 共通科目コミュニケーション・スキル2「中国語」

研究科: 中国中世文化論特論など

[地域連携]

8月、小白川キャンパスで実施された教育免許状更新講習(国語科、講習名「国語教材の研究」)の講師を務めた。

山形新聞「ことばの杜へ」欄(毎週土曜日掲載)に、のべ六回にわたって寄稿した。

(6) 研究・教育活動に関するコメント

[科学研究費]

研究種目: 基盤研究(C)(一般)

研究課題名: 「二十世紀中国画家の継承と創造に関する言説の文学的考察」

期間: 令和元年度~令和3年度

洪 慈乙

(1) 研究成果 (著書)

鶴見正史編著『複式簿記概説——財務報告の方法と論理——』[補章1 仕訳と勘定記入の原則]、

五絃舎、2020年3月25日、pp. 61-68。

- (2) 研究成果（論文）
- (3) 研究成果（学会発表）
- (4) 研究成果（その他）

講評：『財務会計研究』第13号、「講評 企業会計のパラダイム・シフト——『期末資本2重計算』と会計的 Code の形成——」、2019年8月、pp. 62-69。

- (5) 教育，地域連携等の活動

教育：専門科目（会計学1、会計学2、財務会計a、財務会計b、会計学演習）

基盤教育（スタートアップセミナー）

その他（学部および大学院オムニバス科目担当）

地域連携等：きらやかマネジメントスクール2019第4回「経営と会計1」担当

米沢東高等学校出張講義（2019.10.8）

- (6) 研究・教育活動に関するコメント

本多 薫

- (1) 研究成果（著書）

1) 本多薫、門間政亮：地上絵に関する情報科学的研究・第8節（古代アメリカの比較文明論：メソアメリカとアンデスの過去から現代まで）、京都大学学術出版会、pp.242-251、2019.9

- (2) 研究成果（論文）

1) 本多薫、門間政亮：記憶再生、視線移動、負担からの情報表示における画面サイズと表示位置に関する検討、山形大学人文社会科学部研究年報、第17号、pp.45-58、2020.3

- (3) 研究成果（学会発表）

1) 本多薫、門間政亮：記憶再生、視線移動、負担からのモニター画面の表示位置に関する検討、日本生理人類学会第80回大会、名古屋市立大学（名古屋市）、P1-04、2019年10月26日

2) 本多薫、本多ふく代：テキスト情報における内容理解の促進に関する検討、日本生理人類学会第80回大会、名古屋市立大学（名古屋市）、P1-07、2019年10月26日

- (4) 研究成果（その他）

- (5) 教育，地域連携等の活動

教育：

授業：（学部）人間情報科学概論、人間情報科学特殊講義、人間文化入門総合講義、人間情報科学基礎演習、人間情報科学演習、情報処理実習、データ処理演習

卒業研究の指導（正指導教員として指導した卒業論文）：

- (a) 大学生の SNS 利用における対人ストレスの研究—利用する SNS の比較を通して—
- (b) 避難行動における認知距離とリスク傾向の関係
- (c) 相手の印象や発言に対する原因帰属や自尊感情が対人感情に及ぼす影響
- (d) 自動車運転時の慣れが運転行動に与える影響
- (e) 「オタク」ステレオタイプにおける自己理解と他者理解の関係

地域貢献活動等：

- (a) 日本人間工学会 代議員
 - (b) 日本人間工学会東北支部運営委員会 委員
 - (c) 土木学会 地下空間研究委員会心理小委員会 委員
 - (d) その他、公的資格検定試験の委員など
- (6) 研究・教育活動に関するコメント

平成31年度は、科学研究費補助金（代表）の「学習者の疲労、負担とヒューマン・エラーの視点からの最適な画面設計の提案」の研究を進め、その成果を研究年報と学会で報告した。また、これまでのナスカの地上絵に関する研究を著書にまとめた(京都大学学術出版会)。教育としては、情報科学関連の講義と演習、PBL、ジェネリックスキル科目を担当するとともに、卒業研究の指導を行った。

本多 広樹

- (1) 研究成果（著書）
- (2) 研究成果（論文）

【査読あり】

本多広樹（2020）保育および教育機能からみた中山間地域の存続基盤—伊那市新山地区を事例として—。季刊地理学, 71,182-196.

- (3) 研究成果（学会発表）
- (4) 研究成果（その他）
- (5) 教育，地域連携等の活動

【教育】

担当授業：地域政策論 1， 2， 地域政策論演習，総合講座 I（第7回および第8回），公共政策・地域課題実践演習 B2，基盤教育・教養科目（人文地理学入門），スタートアップ・セミナー

【地域連携】

夏季休業中に、学生によるフィールドワークを長井市中心市街地にて実施した。

また、成果報告会を長井市旧長井小学校第一校舎にて実施した。（2019年11月16日）

- (6) 研究・教育活動に関するコメント

長井市でのフィールドワークを地域政策論演習にて開始した。2020年度以降も継続する予定であるため、学生にも地域の方々にもプラスとなる成果が得られるように、活動内容をさらに改善していきたい。

丸山 政己

- (1) 研究成果（著書）
- (2) 研究成果（論文）
- (3) 研究成果（学会発表）
- (4) 研究成果（その他）

・安達峰一郎生誕150年記念シンポジウム「よみがえる安達峰一郎—世界が称賛した国際人に学

ぶー」(安達峰一郎記念財団主催)パネリスト(スクワール麴町, 2019年6月15日)

- (研究報告) The Concept and its Current State of ‘Legal Control Mechanism’: Towards Jus Contra Oligarchiam as Critical International Constitutionalism, 最上先生古稀記念論文集ワークショップ(早稲田大学, 2019年11月10日)

(5) 教育, 地域連携等の活動

- 担当科目: 国際法1・2, 国際組織法, 国際法演習, グローバル・プロブレマティーク基礎演習d, 総合講座II(1回分を担当), 国際法入門(基盤教育)
- 慶応義塾大学法科大学院ゲスト・スピーカー(Area Studies of Law(EU)の2コマ分)“Global Constitutionalism in the UN Security Council: ‘Legal Control’ by the ECtHR?”(5月18日)
- 仙台第三高校出張講義「国連安全保障理事会の役割とは」(5月24日)
- 安達峰一郎研究関係: 山辺町安達峰一郎博士顕彰会との連携として, 書簡集編集委員会の開催(5月27日, 10月3日, 12月19日), 科研費(基盤研究B)「外交官, 国際法学者, そして裁判官としての安達峰一郎に関する総合的研究」(研究代表者: 柳原正治)の研究会@山形大学の開催(6月19日)など
- 学内委員: 高大連携委員会(副委員長), 研究科運営委員会委員(入試部会)

(6) 研究・教育活動に関するコメント

今年度は具体的な研究成果を出せなかったが, 安達峰一郎書簡集の編集作業を軌道に乗せることができ, 2020年度に刊行する一定の目処がついた。また, 学会で大変お世話になっている最上敏樹早稲田大学教授の古稀記念論文集(洋書として刊行予定)に寄稿する論文の作成作業を進めた。本厄の年にしては, 十分な雌伏の年になったのではあるまいか。

森岡 卓司

- (1) 研究成果(著書)
- (2) 研究成果(論文)
- (3) 研究成果(学会発表)

[口頭発表 単独]

1. 森岡卓司「基地闘争下の共同制作童話 「ヘイタイのいる村」から「山が泣いてる」へ」日文研共同研究会「東アジア冷戦下の日本における社会運動と文化生産」第3回 2020(令和2)年2月23日 国際日本文化研究センター

(4) 研究成果(その他)

[書評]

1. 森岡卓司「中村ともえ著『谷崎潤一郎論—近代小説の条件』(青簡(※旧字)社, 二〇一九年五月)」日本比較文学会『比較文学』62巻 2020(令和2)年3月31日 p123~p126
2. 森岡卓司「彩坂美月『みどり町の怪人』」『山形新聞』2019(令和1)年9月8日
3. 森岡卓司「阿部和重『orga (ni) sm』」『山形新聞』2020(令和2)年1月12日

[記事]

1. 森岡卓司「「やまがた再発見」461. 真室二郎 上、462. 真室二郎 下」『山形新聞』2019(令

和1)年6月9日、16日

2. 森岡卓司「山新文学賞 選考経過」2019(令和1)年 4月21日、5月19日、6月16日、7月21日、8月18日、9月15日、10月20日、11月17日、12月15日、12月29日(年間賞)

(5) 教育, 地域連携等の活動

[出張講義等]

1. 米沢東高等学校 2019(令和1)年10月8日
2. 台湾師範大学 2020(令和2)年2月14日

[公開講演会等の開催(附属映像文化研究所運営委員として)]

1. 講演会「山形の映画文化の記憶をたどる—山形市の映画館プログラムを手がかりに—」(主催:山形大学附属博物館 場所:ゆうキャンパス・ステーション 2019年6月4日)
2. 幻灯と映画の上映会「幻灯の映した昭和—絵本と炭鉱」(主催:JSPS 科研費基盤研究C「近現代日本の社会運動組織による「スクリーンのメディア」活用の歴史・地域的展開」(研究代表者:鷺谷花) 場所:山形大学人文社会科学部 2019年10月12日)

(6) 研究・教育活動に関するコメント

卒論指導は6名。学会活動としては日本近代文学会評議員及び東北支部運営委員、日本比較文学会事務局幹事及び東北支部役員、日本文芸研究会常任委員、日本文学協会委員。学内での活動として、日本近代文学東北インカレゼミ合宿を本年度は福島県で開催、山形大学が主催する朗読コンテストの審査員を務めた。

諸田 博昭

- (1) 研究成果(著書)
- (2) 研究成果(論文)

諸田博昭「戦間期中国の銀行券発行における領用の役割」『社会経済史学』第85巻第2号、pp.161-181、2019年8月

- (3) 研究成果(学会発表)
- (4) 研究成果(その他)
- (5) 教育, 地域連携等の活動

山形中央高校(2019年12月11日)

(6) 研究・教育活動に関するコメント

安田 均

- (1) 研究成果(著書)
- (2) 研究成果(論文)
- (3) 研究成果(学会発表)
- (4) 研究成果(その他)

「労働の同質性」の抽出(第45回仙台経済研究会補報告, 19/8/24, 東北大学), 経済理論学会誌『季刊経済理論』第56巻第2号(7月刊)特集「多層化したこんにちの労働」の編集担当。

「特集にあたって」執筆, 第73回東北経済学会(山形大学, 8/31)第2会場第2報告の討論者。

(5) 教育, 地域連携等の活動

[教育] 講義「経済原論」,「市場と組織」,「経済原論演習」,学部キャリア科目「地域社会論」,同「労働と生活」,東北学院大学「政治経済論 I,II」,出張講義「労働市場のはなし」(宮城県立石巻高校,19.10.15),山形大学進学説明会(7/9,新潟市朱鷺メッセ)

[地域連携] 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構山形支部運営協議会会長,「経済指標の解説」(連合山形『春闘パンフレット』2020年版,20/02)。

(6) 研究・教育活動に関するコメント

山口 昌樹

(1) 研究成果(著書)

(2) 研究成果(論文)

山口昌樹,「何が地方銀行を海外有価証券投資に駆り立てたか」,『証券経済研究』,日本証券経済研究所,第107号,pp.47-62

(3) 研究成果(学会発表)

山口昌樹,「何が地方銀行を外債投資に駆り立てたか」,日本金融学会2019年秋季大会,甲南大学,2019年10月

(4) 研究成果(その他)

解説記事 山口昌樹,「欧州「緑の革命」」,『週刊エコノミスト』,2020年2月18日号,pp.74-75,毎日新聞社出版

(5) 教育,地域連携等の活動

- ・担当授業:基盤教育・基幹科目、金融論、国際金融論、くらしとマネー、国際金融論演習
- ・教員免許講習 「国際経済の読み方」 2019年8月6日

(6) 研究・教育活動に関するコメント

研究をこつこつと進める楽しさを味わえた1年であった。

山田 浩久

(1) 研究成果(著書)

(2) 研究成果(論文)

山田浩久(2020)「観光施策や観光施設に与える影響—観光者数の分析—」.山形大学人文社会科学部附属やまがた地域社会研究所(是川晴彦,高橋和,砂田洋志,山田浩久,阿部晃士,山本匡毅,吉原元子):国道347号通年通行による地域活性化効果の調査研究,東北経済学会誌,73-1,82-89.

山田浩久(2020)「国道347号の棲み分け—国道47号,国道48号との比較—」.山形大学人文社会科学部附属やまがた地域社会研究所(是川晴彦,高橋和,砂田洋志,山田浩久,阿部晃士,山本匡毅,吉原元子):国道347号通年通行による地域活性化効果の調査研究,東北経済学会誌,73-1,90-94.

山田浩久(2020)「天童市田麦野地区」.平成31年度地域づくり活動調査研究事業 地域実態調査研究報告書,1-13.

(3) 研究成果(学会発表)

山田浩久(2019)東日本大震災の人的被害による市街地再編の歪み.東北地理学会,東北大学.

山田浩久 (2019) 「観光の組織化」と地域構造変容のダイナミズム」シンポジウム趣旨説明, 日本観光研究学会東北大会, 石巻専修大学

(4) 研究成果 (その他)

(5) 教育, 地域連携等の活動

担当授業

学部教育

- 人文地理学概論, 地域構造論, 地誌学, 地域構造論演習, 都市地理学調査実習, ツーリズム産業論, 総合講座 1, 地域課題実践演習 B 1

大学院教育

- 都市計画特論, 都市計画特別演習, 社会文化システム特論

高等学校へ出張講義

- 上山明新館高等学校 (演題: 上山市のまちづくり)

きらやかマネジメントスクール

- 地域資源活用①

自治体職員講習

- 山形市定住自立圏地域計画講習講師

学外の審議会, 委員会

- 国土交通省, 東北ブロック地理空間情報産学官地域連携協議会議長

- 山形市中心市街地活性化戦略本部部員

- 山形市都市計画マスタープラン見直しに係る研究会委員

- 山形市にぎわい拠点整備事業審査委員会委員長

- 山辺町総合戦略有識者会議議長

- 長井市まちづくり基金審査委員会委員

- 山形県立上山明新館高等学校学校評議委員

- 日本地理学会代議員

- 経済地理学会北東支部支部幹事

- 東北地理学会編集委員会委員

(6) 研究・教育活動に関するコメント

マシントラブルのため, 平成28年度に採用された科研費挑戦的萌芽研究 (課題番号: 16K13295, 研究代表者: 山田浩久) の研究期間を延長し, データの復旧と共に国勢調査の500mメッシュデータをを用いた新たな分析を行った。当該分析の結果は年度中に東北地理学会において口頭発表を行い, 論文にまとめて投稿したが, 年度内の公刊には至らなかった。平成30年度に採用された科研費基盤研究 (B) (課題番号: 18H03457, 研究代表者: 山田浩久) では, 同科研2年目のフェーズである観光の組織化に関する研究をそれぞれの研究者が行い, 年末に開催した日本観光研究学会東北大会のシンポジウムで統一見解を示すことができた。

地域連携に関しては, 国土交通省の東北ブロック地理空間情報産学官地域連携協議会の座長を務め, 地理空間情報の新たな活用方法に関する議論を東北六県の自治体と共に進めていくことにした。また, 山形市の中心市街地活性化基本計画, 山辺町の総合戦略に関わる議論にも有識者と

して参画し、研究成果を行政施策に反映されることができた。こうした活動は学生教育にも活かされ、最新の話題を学生に伝える授業を行うことができている。

山本 睦

(1) 研究成果（著書）

山本睦、ホルヘ・オラーノ

2019「ベンティーヤ神殿—形成期とナスカ期」『古代アメリカの比較文明論—メソアメリカとアンデスの過去から現代まで』。青山和夫、米延仁志、坂井正人、鈴木紀（編）。京都大学学術出版会。pp. 159-170。

(2) 研究成果（論文）

山本睦、マリーナ・ラミーレス

2019「ペルー北部インガタンボ遺跡（第五次）とカニャリアコ遺跡の発掘調査」『古代アメリカ』22：119-132。古代アメリカ学会。

(3) 研究成果（学会発表）

山本睦、フアン・パブロ・バルガス、オスカル・アリアス

2019「エクアドル、セロ・ナリオ遺跡とロマ・デ・ピンシユル遺跡の発掘」、第24回古代アメリカ学会研究大会。南山大学。(口頭発表)。

Atsushi Yamamoto

2019 “Proyecto arqueológico Inгатambo: Trayectoria y relación con las comunidades”. Simposio conmemorativo por los 120 años de la inmigración japonesa / Año de la amistad Peruano Japonesa y los 40 años de investigación de la Misión Arqueológica Japonesa en Cajamarca “Entre el pasado y el presente: Estudios y protección del patrimonio cultural en la costa y sierra norte del Perú”, Cajamarca, Perú.

2019 “Inгатambo: Frontera norte del Periodo Formativo y su potencial para el desarrollo social”. Simposio por el año de Amistad entre Japón y Perú “Protección del patrimonio cultural peruano en el nuevo milenio: Perspectivas y experiencias de investigadores de Perú y Japón. Lima, Perú.

(4) 研究成果（その他）

山本 睦

2020「ペルー最北部地域における編年と土器」、基盤研究（A）「アンデス文明における権力生成と社会的記憶の構築」基盤研究（B）「生物考古学資料にもとづく古代アンデス社会の複雑化過程の解明」2019年度合同研究会プログラム。山形大学。

2020「ペルー最北部におけるモニュメントの形成と社会複合化—インガタンボ遺跡の発掘調査を中心に—」（ポスター発表）、「ドメスティケーション・土器・社会複合化・モニュメント：出ユーラシアの統合的人類史学：文明創出メカニズムの解明」第2回全体会議。南山大学。

2019「フロンティアと周縁：ペルー最北部の形成期」アンデス文明研究会。東京外国語大学本郷サテライト。(口頭発表)。

Atsushi Yamamoto

2019 “Complejidad sociopolítica en el norte del Perú: durante el periodo formativo (3000-1 a.C.)”. Convensorio, Cuenca, Ecuador.

鶴見英成、松本雄一、渡部森哉、山本睦

2020「アンデス文明におけるドメスティケーション、モニュメント、土器、社会複合化」、「ドメスティケーション・土器・社会複合化・モニュメント：出ユーラシアの統合的人類史学：文明創出メカニズムの解明」第2回全体会議。南山大学。

2020年1月12日。

Juan Pablo Vargas y Atsushi Yamamoto

2019 Informe del Proyecto de Investigación Arqueológica Cerro Nario, Loma de Pinzhul y El Bosque. Instituto Nacional de Patrimonio Cultural, Cuenca, Ecuador.

(5) 教育，地域連携等の活動

2019「アンデス考古学と文化人類学」模擬講義。米沢中央高等学校。

2019「山形大学によるナスカ研究の現状と課題」福島県南高等学校地理歴史・公民科（社会科）研究会。福島県立安積黎明高等学校。（口頭発表）。

2019「発掘作業の面白さと古代文明を知ることの意義」大分合同新聞4月13日付け朝刊。

(6) 研究・教育活動に関するコメント

「神殿をめぐる活動と地域間交流の相関からみたアンデス文明形成期の社会動態」（科学研究費補助金・若手 A）によって、ペルーおよびエクアドルで現地調査を実施した。また、これまでの研究成果を、論文や学会、シンポジウムなどを通じて発表した。

今後は研究の成果をより積極的に、教育や地域連携へといかしていくつもりである。

吉原 元子

(1) 研究成果（著書）

(2) 研究成果（論文）

(3) 研究成果（学会発表）

「地場産業集積における中小企業の協調的行動についての一考察」日本地域経済学会第31回全国大会、京都橘大学、2019年12月

(4) 研究成果（その他）

単著「中小企業組合組織の特徴と限界－テンポラリー組織との比較から」『社会環境論究』第12号（掲載決定）

共著「国道347号通年通行による地域活性化効果の調査研究」『東北経済学会誌』2019年度第73巻第1号、2020年3月

分担執筆『成熟産業の集積におけるグレードアップに向けて』産業構造調査研究事業助成報告書、第1章「研究の枠組み」、第8章「織物関連工程からみる構造変化」、2020年2月

(5) 教育，地域連携等の活動

[教育]

中小企業論 a・b、中小企業論演習、企業課題解決型実践演習 a（コヤマ）、企業課題解決型実践演習 a（トヨタカローラ）、山形から考える地域産業（山形から考える）

[地域連携等]

山形県国民健康保険運営協議会委員、山形県建築審査会委員、山形県農業・農村政策審議会委

員、山形県ベストアグリ賞表彰事業審査員、全国中小企業団体中央会組合資料収集加工事業調査研究委員会委員・組合指導資料・テキスト作成委員会委員・官公需共同受注促進事業委員会委員、山形県中小企業団体中央会取引力強化推進事業に係る選考委員、一般財団法人商工総合研究所中小企業組織活動懸賞レポート審査委員、きらやか銀行新規事業進出支援研修会講師（9月4日）、工業系支援機関ネットワーク研修会 in 東北講師（11月1日）、きらやかマネジメントスクール第3回講師（11月15日）、山形東高校郷土山形企業等研修講師（10月4日）、長井高校模擬講義（11月6日）、YBC「やまがたサンデー5」取材協力（8月27日）、TUY「Nスタやまがた」取材協力（1月28日）、YTS「ゴジダス」取材協力（1月28日）、YBC「News every.」取材協力（1月29日）

(6) 研究・教育活動に関するコメント

平成29年度から引き続き、村山総合支庁から「キラリと光る村山の企業・技術情報発信事業」を受託した。本多広樹先生のご協力を得て県内企業30社を訪問し、フェイスブックに記事130本を掲載できた。

Stephen Ryan

(1) 研究成果（著書）

(2) 研究成果（論文）

Ryan, S.B. (2020) Developing Intercultural Competence: recognizing the minimization effect. 山形大学人文社会科学部研究年報 第17号 (2020. 3) 59-69.

(3) 研究成果（学会発表）

Ryan, S. B. (2020.1) . The Life of US President Alexander Hamilton (1757-1805) . Japan Association of Language Teachers (JALT) . Yamagata city, Yamagata Chapter.

(4) 研究成果（その他）

(5) 教育，地域連携等の活動

・担当授業：

（基盤教育）総合英語，コミュニケーション英語、

（専門教育）英作文（上級）英語コミュニケーション（上級）

（大学院）現代外国語（英語）（異文化間コミュニケーション論特論Ⅰ・Ⅱ（英語）

(6) 研究・教育活動に関するコメント

Research interests include Intercultural Communication, schema, cultural bias and English Language learning

渡辺 文生

(1) 研究成果（著書）

(2) 研究成果（論文）

渡辺文生「ノートの筆記過程をもとに分析する受講者の理解ストラテジー」『2019 CAJLE Annual Conference Proceedings』 pp. 341-348. カナダ日本語教育振興会

渡辺文生「課題解決型会話の談話展開と提案の可決・否決 母語場面と第三者言語接触場面の対照」『山形大学人文社会科学部研究年報』17,1-17.

(3) 研究成果 (学会発表)

渡辺文生「ノートの筆記過程をもとに分析する受講者の理解ストラテジー」2019 CAJLE Annual Conference, University of Victoria, Victoria, British Columbia, Canada 2019.08.06-07

(4) 研究成果 (その他)

(5) 教育, 地域連携等の活動

担当授業は, 日本語文法特殊講義 b, 日本語文法演習 (前期), 専門英語演習 (Japanese Studies), 日本語 b, 日本語文法演習 (後期), 日本語文法概論, 人間文化入門総合講義《以上学部専門科目》, 日本語意味論特論Ⅱ, 日本語意味論特別演習, 言語科学特別研究Ⅰ, 言語科学特別研究Ⅱ《以上大学院科目》, 言語コミュニケーションのストラテジー (人間を考える), 日本語上級2「書く」《以上基盤教育科目》。地域貢献等の活動としては, 教員免許状更新講習 (2019.08.01), 山形学院高等学校出張講義 (2019.09.04) を行った。

(6) 研究・教育活動に関するコメント

研究活動については, 研究代表者として関わる基盤(C)の科学研究費プロジェクトの研究を中心に学会発表等を行った。教育活動については, 日本語学の卒業論文3名の主指導・1名の副指導, および修士論文1名の主指導・3名の副指導を行った。

渡辺 将尚

(1) 研究成果 (著書)

(2) 研究成果 (論文)

(3) 研究成果 (学会発表)

(4) 研究成果 (その他)

(5) 教育, 地域連携等の活動

(6) 研究・教育活動に関するコメント

2020年3月,「ドイツ文学論集53号」に,論文「「抑圧」されたアイデンティティ―「フィッシャー論争」における反フィッシャー派の論点を中心に」を投稿し,審査の上,掲載を許可された。なお刊行は2020年9月。